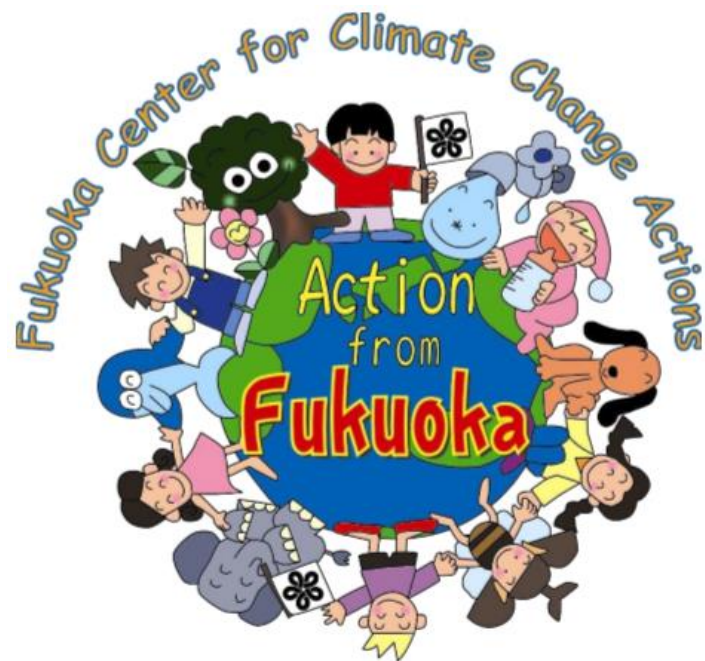


福岡県地球温暖化防止活動推進センター
平成 28 年度事業報告書



平成 29 年 3 月

福岡県地球温暖化防止活動推進センター
(一般財団法人 九州環境管理協会)

一般財団法人九州環境管理協会は、「地球温暖化対策の推進に関する法律(1988年10月)」第11条に基づき、福岡県知事より「福岡県地球温暖化防止活動推進センター」の指定を受け、今日まで福岡県内の地球温暖化防止対策に関する普及啓発の拠点としての役割を担ってきました。

福岡県地球温暖化防止活動推進センター(以下、「県センター」という。)は、第1期(平成16年4月1日～平成21年3月31日)、第2期(平成21年4月1日～平成25年3月31日)を経て、現在は第3期(平成25年4月1日～平成30年3月31日)を迎え、福岡県地球温暖化防止活動推進員をはじめ、県内の行政機関と連携しつつ、脱温暖化社会の形成に向けた活動を進めています。

県センターは、福岡県の地球温暖化対策に関する「情報センター」としての機能と、「活動支援の拠点」としての機能を有し、基本的な活動として「① 情報提供」「② 広報・啓発」「③ 活動支援」「④ 照会・相談」「⑤ 調査・研究」の5項目を軸に事業展開を行っています(図-1)。また、環境省補助事業の活用により、多岐にわたった事業活動を展開しています。

本報告書は、平成28年度において県センターが実施した事業の内容及び実績についてとりまとめたものです。



図-1 県センターの役割

目 次

1. 温暖化防止対策に関する情報提供、照会・相談	1
1-1 ふくおかエコライフ応援サイトによる温暖化関連情報の発信	1
1-2 県民、事業者、NPO、市町村等からの相談・照会対応	3
1-3 ふくおかエコライフ応援ペーパー「減 CO2 クラブ」の作成、発行	6
2. 推進員、NPO、自治体、学校等の温暖化防止対策の活動支援	9
2-1 学習教材・啓発資材の貸出状況	9
2-2 推進員及び推進員地域連絡会等の活動支援	11
2-3 講師派遣制度の運用	24
2-4 「ふくおかエコトン隊」の派遣	34
2-5 その他支援	34
3. 将来を支える次世代人材の育成	35
3-1 ふくおか子ども環境家計簿の作成、普及	35
3-2 三世代まるごとエコ活動支援	36
4. エコファミリー、エコ事業所応援事業のサポート活動	37
4-1 福岡県環境家計簿（県民編）の作成、普及	37
4-2 福岡県環境家計簿（エコ事業所編）の作成	38
5. 県内の温室効果ガス排出実態の調査	39
5-1 温室効果ガス排出量	39
5-2 二酸化炭素排出量	40
6. ふくおかエコライフ応援プロジェクト事業実施業務(福岡県委託事業)	42
6-1 業務の概要	42
6-2 業務の実施結果	44
7. 地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省補助事業）	45
7-1 地球温暖化対策の現状及び進捗状況に関する啓発・広報業務	45
7-2 地域地球温暖化防止活動推進員の支援	46
7-3 温室効果ガスの排出の抑制等のための照会・相談・助言業務	49
8. 低炭素ライフスタイル構築に向けた診断促進事業（環境省補助事業）	50
8-1 事業の概要	50
8-2 診断実施概要	51
8-3 事業の実績及び効果	53
9. 平成 28 年度福岡県地球温暖化防止活動推進センター事業結果（総括）	54

1. 温暖化防止対策に関する情報提供、照会・相談

1-1 ふくおかエコライフ応援サイトによる温暖化関連情報の発信

県センターのホームページは、平成 22 年 7 月から福岡県「ふくおかエコライフ応援サイト」と統合し、共同運用を図りながら、県民に対して温暖化関連情報や県センター事業に関する情報提供を行っています。

平成 28 年度は、より利用しやすいホームページにするため、センターのトップページを次のとおり改良し、各種利用案内の項目を整理しました（図-2、3）。



図-2 県センタートップページ（改訂前）



図-3 県センタートップページ（改訂後）

平成 28 年 3 月から平成 29 年 2 月までのアクセス数は年間約 104 万件(日換算 2,857 件)であり、昨年度の実績 (2,460 件) を上回り、年々増加傾向にあります (図-4)。また、月別には 5 月が最もアクセス数が多くなっています (図-5)。

今後も利用者の目線に立ち、適宜サイトの掲載項目の改善等、充実した情報を提供できるページの運用を目指していきます。

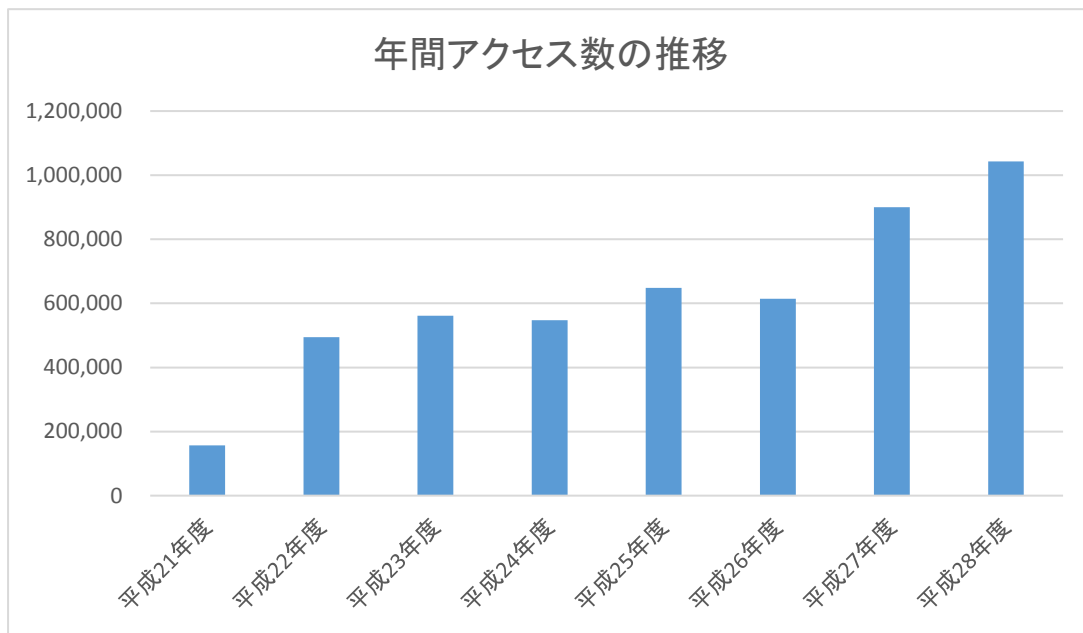


図-4 「ふくおかエコライフ応援サイト」の年度別アクセス数

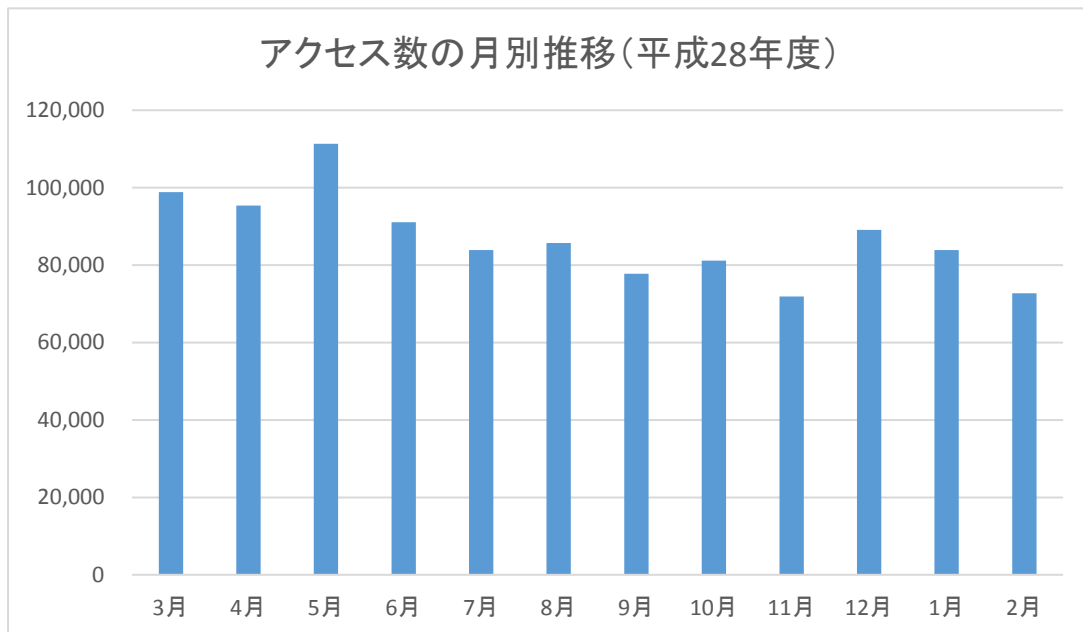


図-5 「ふくおかエコライフ応援サイト」の月別アクセス数の推移

1-2 県民、事業者、NPO、市町村等からの相談・照会対応

(1) 問合せ・来訪者

平成28年度における県センターへの電話等による問合せ数816件、訪問数94件の合計910件であり、昨年度(1,414件)に比べて減少しています(表-1)。

主な問合せ内容としては、学習資材や啓発資材(エコトン着ぐるみや展示パネルなど)の貸出し依頼、講師派遣の依頼、うちエコ診断士派遣の依頼、エコファミリー事業等、多岐にわたります。また、来訪目的は、上述の各種資材の受取・返却や、センター主催による会議、研修会への参加、継続的に実施している推進員相談窓口の活用によるものでした。

表-1 県センターへの問合せ・訪問者数

年 度	問合せ (件)	来訪者 (人)	備 考
平成16年度	55	130	
平成17年度	73	164	
平成18年度	252	181	
平成19年度	278	187	
平成20年度	1,371	198	太陽光補助金申請窓口
平成21年度	4,060	870	太陽光補助金申請窓口
平成22年度	420	200	
平成23年度	580	180	
平成24年度	360	120	
平成25年度	426	200	次世代教育講師会議 (4回)
平成26年度	1,024	325	次世代教育講師会議 (8回)
平成27年度	1,064	350	次世代教育講師会議 (11回)
平成28年度	816	94	

今年度は、愛知県の県議会議員(公明党)が1名来訪され、県センターの活動状況についてヒアリングを受けました(図-6)。



図-6 愛知県議来訪の対応状況

(2) TV 放送局からの取材依頼

今年度は2つのテレビ局から相談を受け、地元福岡で温暖化防止、省エネルギーに取り組んでいる推進員、団体を紹介しました。

メディアを通して推進員の活動状況が紹介できたことは当センターにとっても成果であり、今後もこうした機会を活用していきます。

① 九州朝日放送 (KBC)、「アサデス。」

夏場の有効的なエアコンの利用方法に関して、うちエコ診断士の紹介依頼があり、センター所属のうちエコ診断士の吉見一郎氏を紹介しました。また、積極的にエコに取り組んでいる県民の紹介依頼もあり、ふくおか環境マイスターの荒木フサエ氏を紹介しました。取材の様子は、7月28日(木)の同番組のコーナー「朝イチスクープ」で放映されました

(図-7)。



図-7 KBC「アサデス。」の1シーン

② テレビ西日本 (TNC)、「土曜 NEWS ファイル CUBE」

環境省の事業委託による映像制作として、県内で温暖化対策に取り組み団体や地域、推進員とその活動について情報提供の依頼があり、県センターより2つの団体と2名の推進員を紹介しました。このうち、「葉山ヘルスケア・省エネ共和国」の活動状況が平成28年12月10日に放映されました(表-2)。

表-2 テレビ西日本 (TNC) で放映された団体

名称	代表者	活動内容等
葉山ヘルスケア・省エネ共和国	大統領 今西良一	福岡県環境家計簿を使った省エネ運動を宗像市葉山地区全域で長年継続している団体。代表の今西氏(宗像市推進員)は、これらの活動を宗像市内外に普及させたいと様々な講演活動を行っている。

(3) 地球温暖化対策実行計画策定委員会等への参加

県センターでは、県内の自治体が策定する「地球温暖化対策実行計画」の策定や進行管理の委員会に温暖化防止対策の普及促進を図る立場の委員として参加しています。

今年度は、福岡市、篠栗町、久留米市、宗像市の3市1町の委員会にセンター長が出席しました（表-3）。

表-3 自治体の温暖化対策委員会等への参加実績

自治体名	委員会名	開催日	参加者
福岡市	福岡市地球温暖化対策実行計画協議会	平成28年5月18日 平成28年8月9日 平成28年10月5日 平成28年11月21日	センター長
篠栗町	篠栗町地球温暖化対策実行計画策定協議会	平成28年7月5日 平成28年9月29日 平成28年12月21日 平成29年2月27日	センター長
久留米市	久留米市地球温暖化対策協議会	平成28年10月7日	センター長
宗像市	宗像市環境保全市民協議会議	平成28年6月28日	センター長

(4) その他支援（民間情報誌への寄稿）

株式会社ビスネットより、同社が発行している「いいモノ・企業・地域を応援する消費者のための情報誌 なっとく!Life」への寄稿を依頼されました。

本稿では「地球温暖化は待ったなし」と題し、県センターや福岡県エコファミリー事業、うちエコ診断事業、国民運動「COOL CHOICE」のことを紹介しました（図-8）。



図-8 情報誌寄稿文

1-3 ふくおかエコライフ応援ペーパー「減 CO2 クラブ」の作成、発行

平成 28 年度は、特集 1 として「パートナーシップで取り組む低炭素社会づくり ―賢く選んで未来をつくる― (環境省 九州環境パートナーシップオフィス コーディネーター 澤 克彦氏)」(図-9)、特集 2 として「福岡県の適応策の取組 (高温に強い品種の開発) (福岡県農林水産部農林水産政策課)」(図-10) を掲載しました。

事業報告としては、28 年度に注力した環境省補助事業の「環境家計簿学習会の開催」について掲載しました (図-10)。また、推進員の活動報告を 2 頁にわたって紹介し、1 枚目にはエコアドバイザーやうちエコ診断士として活動している推進員を、2 枚目には各地域における推進員活動について紹介しました (図-11)。

また、例年掲載している「エコトンの福岡県減 CO2 度チェック」、「エコファミリー・エコ事業所優秀表彰」の情報を更新しました (図-12)。

ふくおかエコライフ応援ペーパー「減 CO2 クラブ」は 1,000 部作成し、推進員や県内自治体等に配布しています (表-4)。

表-4 「減 CO2 クラブ」の配布数

配 布 先	配布数
県 (本庁、環境事務所)	200
県内市町村	600
推進員、環境マイスター	105
イベント等	95
合計	1,000

ふくおかエコライフ応援ペーパー

減CO2クラブ

環境家計簿を使ったエコライフのすすめ

福岡県地球温暖化防止活動推進センター
(環境家計簿学習会 説明スライド)

CONTENTS

特集1 : パートナーシップで取り組む低炭素社会づくり
 特集2 : 福岡県の適応策の取組 (高温に強い品種の開発)
 事業報告 : エコ講座 (環境家計簿学習会) の開催!
 活動報告 : 地球温暖化防止活動推進員が様々な活動を展開中!
D A T A : エコトンの福岡県減CO2 (がんこつ) 度チェック!
 お知らせ1 : エコファミリー、エコ事業所優秀表彰!
 お知らせ2 : 地球温暖化対策の国民運動「COOL CHOICE」
 お知らせ3 : エコファミリー募集中!

2016
No.15

特集1

パートナーシップで取り組む低炭素社会づくり - 賢く選んで未来をつくる -

環境省 九州環境パートナーシップオフィス
コーディネーター 澤 克彦

環境省では、国民運動「COOL CHOICE」を掲げ、一人ひとりのライフスタイルに応じた、未来のための活動づくり、消費生活の低炭素化について取組を進めています。(https://funtoshare.env.go.jp/coolchoice/activity.html)

「地球温暖化」に代表される気候変動に対して、私たちが日ごろの暮らしの中でできることは限られています。また、一人ひとりの力や居る場所の範囲でもできることにも限りがあります。

そこで、パートナーシップを促進させる「中間支援者」の観点から、「COOL CHOICE」をさらに推進する工夫について考えてみたいと思います。

中間支援とは、多様な主体の間に立って、さまざまな資源をつないで、ヒントを提案したりするものです。下図は、福岡県地球温暖化防止活動推進センター（以下、県センター）の取組をもとにその役割を整理したものです。

民間

- ・自治体・事業者・市民団体などから選んでいくアプローチ
- ・自治体・事業者・市民団体などに見合う「うちも参加!」、自治体・事業者・市民団体など
- ・http://www.wakaba-shikoku.jp

企業

- ・環境社会貢献活動の推進を目的とする企業
- ・環境社会貢献活動の推進を目的とする企業
- ・http://www.wakaba-shikoku.jp

自治体

- ・環境社会貢献活動の推進を目的とする自治体
- ・http://www.wakaba-shikoku.jp

市民

- ・環境社会貢献活動の推進を目的とする市民
- ・http://www.wakaba-shikoku.jp

+

エコを
広げよう!

地域で
エコを
広げる

中間支援 4つの役割と COOL CHOICE (福岡県センターとパートナーシップ)

こうしてみると、県センターには実に充実した、生活をエコにする情報やアイデアが集約されています。それは、一人ひとりの取組をつなぎ合わせ、地域ならではの自然や社会の強みをもとに、メッセージのある「COOL CHOICE」を推進する中核者（ターミナル）としての役割と言えます。

また、温暖化防止・気候変動への対応という大きな目標をいきなり突きつけるのではなく、ちょっとしたエコから始めたい時に、暮らしの中で賢く選んでより良い未来をつくる選択やヒントを提供する地域に密着した役割があります。まずは「福岡県地球温暖化防止活動推進センター」をお気に入り登録することから「COOL CHOICE」を始めたいのが良いでしょう。

さらに、県センターの役割を広げて考えてみましょう。これだけ充実した情報提供とネットワークの機能をもった県センターでありながら、その取組が十分に広がっていないようです。もっと地域から頼られる存在になる工夫の余地がありそうです。また、県センターをみなさんのパートナーとして、地域でエコ活動と一緒に取り組むことでその力を発揮してもらえそうです。買い物をするときにそく券や、エコなものを買うように、地域の環境活動づくりと一緒に取り組む仲間として県センターを選んでみてはいかがでしょうか。

最後に、EPO九州 (https://www.epo-kyushu.jp) では、様々な環境活動や環境政策の情報を提供するとともに、活動で活用可能な地域づくりに取り組み活動や応援しています。是非、メールマガジンにご登録いただき、持続可能な九州・沖縄について関心を高めてもらいたいと思います。

1

図-9 ふくおかエコライフ応援ペーパー「減CO2クラブ」(2016)表紙及び1頁

特集2

福岡県の適応策の取組 (高温に強い品種の開発)

福岡県農林水産部 農林水産政策課

近年、気候変動による農業への影響が懸念されています。特に、稲や果樹などは高温による品質低下の事例が報告されています。

ここでは、地球温暖化等の気候変動に対する適応策について、福岡県が取り組んでいる高温に強い農作物の品種の開発状況について紹介いたします。

夏季の高温により、水稲では米粒の中心が白い未熟な米となったり、ぶどうでは着色が遅れたりする等の品質低下が発生します。

福岡県農林水産部では、夏季の高温に強く、食味が良く、つやと粘りがある水稲「元気づくし」を開発するなど、県産農産物の競争力強化につながる県独自品種の開発に取り組んでいます。

平成20年に開発した「元気づくし」は、(一社)日本穀物検定協会が毎年実施する、全国の産地品種銘柄食味試験「米の食味ランキング」において、4年(平成23年度～26年度)連続して最高評価の「特A」を取得し、おいしいお米として高く評価され、県を代表する水稲品種となりました。

「元気づくし」の作付面積
(水稲栽培面積の割合%)

年次	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
面積	3,380	3,700	4,280	5,000	5,200	5,700	6,200

一等米比率*
(農林水産省「米穀の産地別検査結果」)

年次	2013	2014	2015	2016	2017
比率	81.2	81.4	81.4	81.4	81.4

また、平成27年8月には、新たに水稲「実(み)のりつくし」を開発し、平成28年度から栽培が始まりました。「実(み)のりつくし」は、外観品質に優れ、食味が良い水稲で、夏季の高温条件下でも、米粒の中心が白くなる未熟な米の発生が少ない特長を持っています。また、水稲の主要品種「ヒノヒカリ」に比べ、10%程度収量が多く、収穫時期は1週間程度遅いため、作業ピークが分散されます。今後、「元気づくし」と同様に、県内での普及を図ります。

さらに、果樹では、平成27年6月に新たにマスカット着る黒色のぶどうを開発しました。前は「巨峰」に比べるとやや小さめですが、夏季の高温条件下でも着色が良く、糖度は「巨峰」と同程度です。需要が高まる8月上旬からの出荷が可能となるため、これまでの品種との出荷時期が分散されます。平成29年から苗木の販売が始まる予定です。

今後も、県農林水産部では、夏季の高温に強い品種を開発し、県産農産物の競争力の強化に努めます。

* 一等米比率: 各産地品種銘柄米などについて一等米が占める割合

2

事業報告

エコ講座 (環境家計簿学習会) の開催!

環境省 (地域における地球温暖化防止活動促進事業)

福岡県では、環境家計簿を使ってエコライフを実現するエコファミリーを募集しています。今年度はその環境家計簿の普及を図るべく、県民のみなさんを対象にエコ講座 (環境家計簿学習会) を県内各地で開催しています。エコ講座の講師は主に地球温暖化防止活動推進員です。これまでに地元での老人会や婦人サークルなどで21回実施しました。

エコ講座の開催状況 (11月末日現在)

地域	実施年数	今後の予定
北九州・東葉	1	0
福岡・筑紫	4	1
宗像・遠東	7	1
豊後	5	1
久留米・北筑後	2	0
大牟田・南筑後	2	1
計	21	4

環境家計簿のグラフ作成の説明

福岡県センターでは講師経験の少ない推進員を対象に、講師経験のある推進員・環境マイスターによる講習会や練習会を企画し、県内6地域でそれぞれ開催しました。推進員の中には、福岡県センターが作成した説明用パワーポイントのほかに、オリジナル教材を使って説明される方もいます。

講習会や練習会では、普段は見ることができない他の推進員の講義の様子を見たり、自分の講義についての推進員からアドバイスをもらったり、お互いに刺激になったのではないかと思います。

エコ講座を受けられた方からは、「日頃の省エネへの取組を振り返る機会になった」、「省エネ意識が高まった」、「こんな講座があるとは知らなかった」、「機会があれば他の集まりでもやりたい」等のご意見を頂いております。

福岡県センターでは、家庭部門の二酸化炭素排出削減に向けて、今後もエコ講座を実施していきます。老人会や市内会の講習会のひとつとして、PTAの研修のひとつとして、サークルの行事として、エコ講座を受けてみませんか。お問合せは福岡県地球温暖化防止活動推進センター (092-674-2360) までご連絡ください。

説明用パワーポイント資料

3

図-10 ふくおかエコライフ応援ペーパー「減CO2クラブ」(2016)2～3頁



活動報告 地球温暖化防止活動推進員が様々な活動を展開中！

大木町推進員 益田 龍一氏 (エコアドバイザー)

大木町は、「次世代の子どもたちにツクを残さないこと」をまちづくりの目標におき、住民活動をめながら、地球資源を最大限活用して、無駄のない暮らしの中にも新たな豊かさを築きながら地域づくりを目指しています。環境の分野では全国的にも有名になり、全国各地から視察等でお越しになっております。昨年は環境先進国のドイツからの視察もあり、とても素晴らしい交流を深めることができました。

大木町の推進員として毎年、町内の保育園、幼稚園、さらには児童館等から工芸出前講座を行っております。幼少のころから、エコを体験してもらい、実行にうつしてもらえよう、そして「大木町はこんなにエコ町だよ。」ということを知りやすく子供たちに説明しています。今ではおきこ館センター「くるるん」のイメージキャラクター「くるっちゃん」もエコ出前講座に登壇し、子どもたちも大変喜んでおります。

大木町では、ゴミを分別して燃えるゴミを減らすことをテーマ「ごみゼロコンテスト」を毎年行っており、各家庭でゴミ減量の取組を行うことができますという楽しさがあります。優秀賞者になると、コンテスト期間中、一日の燃えるゴミの量が一人当たり10グラム以下というレベルの高い大会になっています。

今後は、小学校でも環境教育を積極的に取り組んでもらえるよう活動していきます。そして、エコを生活の中で常に意識してもらえよう、大木町の推進員として努力、精進していきます。

古賀市推進員 吉見 一郎氏 (うちエコ診断士)

推進員活動は、地方自治体および啓発センターと連携して活動することが最も大切だと考えています。

古賀市では市民の省エネ・節電意識の向上を図るため「うちエコ診断」を実施しています。平成25年度までに500世帯の受診を達成することが目標であり、これまでに延べ125世帯の市民が「うちエコ診断」を受診しました。

古賀市と連携して活動するため、毎年、事業計画について協議を行っています。平成28年度も一般家庭向けに様々な取組を実施することとなり、推進員として主催の「市民向けエコ講座」や「環境家計簿学習会」等で開催を進め、このたびは11月に開催する「古賀市うちエコ診断」の受診をお勧めしました。また、「まつり吉」で広く市民に「うちエコ診断」を知ってもらうため、「簡易診断会」開催を提案し実施することになりました。

「うちエコ診断」は、専用ソフトで家庭のライフスタイルに合わせた光熱費削減とCO₂削減を提案するものです。診断直後のアンケートでは「自分の生活の振り返りが出来た」と好評です。また、受診者から「公民館で開催したら気軽に受診できる」との提案を受け、今後、公民館と連携した診断会を古賀市と企画することとしています。

みんなとエコは、地域の推進員もしくは啓発センターにご相談下さい！

県内の6地域の推進員から地域活動の現状を報告いただきました。

北九州・京築地域
行政推進員2年目の田中です。環境推進員や市環境課の協力のもとに地球イベントの参加、保育園での出前講座等を行っております。保育園では、エコトビの卵のみが管理すると「産み」と書かれた大人気、保護者のために「食育ははじめて」などと準備しておりました。今後も各種活動のご協力のもと活動を進めていきます。

福岡・筑紫地域
地球イベント（市民まつり等）で、「パネルクイズを通して市民の関心と地球温暖化の現状を認識していただくような活動を中心に行っております。また、毎月毎月行ったような活動も行っております。今年度は、実践を軸として！

京築・遠賀地域
宇美町推進員をお受けして、研修会に参加したり、資料を個人で読んでいくうちに「これまで50年後、100年後に生活する人たちに残さない」という思いで活動しています。昨年11月より初の講演の一つとして「宇美町エコトビ」の開催で、その広域に毎月ずつが実施されています。省エネ・節電活動が市民運動であることの意義の重要性を再認識しています。

筑豊地域
春期研修会と一緒に、未来を担う子どもたちを対象に、エコ出前講座の参加をしています。市内には6つの保育園等があり、今年で3回目の開催となります。また、夏休みには宇美町クラブ、地元キャラクター「カキキー」と一緒にゲームやクイズを通して、楽しくエコについて考えようという取り組みも行っています。

久留米・北筑後地域
任期一年目は、町内の成人や子供向けの講座に、環境マイスターやエコアドバイザーの方にお話しいただきました。二年目は、自分も講師が出来るようにと目標として、町内のアンビシャス広場で開催をさせていただきます。今後も、皆さんと協力出来ればと考えています。いろんな場へ出張していきたいと考えています。

大牟田・海豊地域
協議の中、環境主催の「健康と食育の祭り with 環境フェスタ」が11月13日に開催されました。2011年頃から環境推進員と協働で環境フェスタ等を実施しています。今年は環境スタッフらで、参加者が集まっていた期間等をそれぞれ環境推進員に知らせ、温暖化防止の啓発に努めます。

推進員の門へのご連絡は、市町村の環境担当部署、福岡県地球温暖化防止活動推進センター (TEL:092-674-2360)へお問い合わせください。

図-11 ふくおかエコライフ応援ペーパー「減CO2クラブ」(2016)4~5頁

DATA エコトンの福岡県減CO2度チェック!

福岡県内でエコ活動に取り組む家庭や事業所の数は徐々に増えています。

減CO2度指標項目	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (H23年比)
エコファミリー登録世帯数 (世帯)	14,324	15,191	15,806	16,215	20,112 (1,400)
エコ事業所登録数 (事業所)	1,793	1,985	2,866	3,141	3,265 (1,82)
E&A1 認証・登録事業所数 (事業所)	353	413	469	484	478 (1,36)

お知らせ1 エコファミリー、エコ事業所優秀表彰!

福岡県では、環境に配慮した生活や事業活動に取り組む「エコファミリー」と「エコ事業所」を募集しています。このたび平成27年度の取組結果を基に審査が行われ、他の機関と異なる取組がなされた世界・グループと事業所が優秀賞に選定されました。各受賞者には、平成28年11月25日に表彰状と副賞が送付されました。

エコファミリー、エコ事業所優秀表彰者の写真

エコファミリー-奨励賞	エコ事業所-優秀賞
<p>(1) 世界銀行 高ステージで中核人員・住居施設に、二酸化炭素削減が最も多い100世帯</p> <p>賞状 2人 (戸別) 藤原 (福岡) 藤原 貴子 2人 (戸別) 藤原 (福岡) 藤原 貴子 3人 (戸別) 藤原 (福岡) 藤原 貴子 3人 (戸別) 藤原 (福岡) 藤原 貴子 4人以上 (戸別) 藤原 (福岡) 藤原 貴子</p> <p>(2) エコ事業所 高ステージで電気使用量に照らして二酸化炭素削減率が高い100事業所</p> <p>賞状 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡)</p> <p>(3) グリーン企業 高ステージで省エネ・節電の取組が顕著な100事業所</p> <p>賞状 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡)</p>	<p>(1) 電気使用量の削減に努めた100事業所</p> <p>賞状 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡)</p> <p>(2) 高ステージで省エネ・節電の取組に努めた100事業所</p> <p>賞状 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡)</p> <p>(3) その他の分野に努めた100事業所</p> <p>賞状 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡) 藤原 貴子 (福岡)</p>

お知らせ2 地球温暖化対策の国民運動「COOL CHOICE」

今年11月に地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」が発効されました。我が国は2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減するという約束を果たすことを目指しています。この目標を達成するため、これからはより実効性のある温暖化対策を講じなければなりません。

こうした中、政府（環境省）からは地球温暖化対策の旗印として「COOL CHOICE」が打ち出されました。これは、省エネ・省資源の製品・サービス・行動などの温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動のことです。例えば、エコカーを買い、省エネ住宅を建てる、高効率の照明に替える、公共交通機関を利用する、クールビズ・ウォームビズのライフスタイルを実践するなどが含まれます。

福岡県では「COOL CHOICE」を県民の皆さんに知っていただくために、様々な主体と連携してイベント等で紹介しております。まずは、「COOL CHOICE」への賛同登録から始めてみましょう。

お知らせ3 エコファミリー募集中!

福岡県では、地球温暖化の観点から家庭におけるCO₂排出量の削減（電気、ガス、水道、ガソリン使用量の削減）に取り組む「エコファミリー」を募集しています。

- エコファミリーに登録すると、「エコファミリー応援パスポート」が送られてきます。協賛店でパスポートを提示すると、割引や無料サービス等の特典を受けることができます。
- 半期毎（上半期：4月～9月、下半期：10月～翌年3月）に家庭での取組結果を報告していただく、協賛店で使用できるエコチケット（金券）を抽選で進呈します。
- また、電気使用量の検針票の夏期分（7月～9月）、冬期分（12月～翌年2月）を報告していただく、抽選で九州エコライフポイントや協賛企業賞を進呈します。
- 詳しくは「お問い合わせ」またはふくおかエコライフ応援サイトをご覧ください。

【問い合わせ】福岡県環境保全課 ☎ 092-643-3356

図-12 ふくおかエコライフ応援ペーパー「減CO2クラブ」(2016)6~7頁

2. 推進員、NPO、自治体、学校等の温暖化防止対策の活動支援

2-1 学習教材・啓発資材の貸出状況

県センターでは、地域の温暖化対策活動を支援するため、貸出用学習教材・啓発資材（図書、DVD・ビデオ、パネル、省エネナビ、ワットアワーメーター、エコワット等）の整備を行っています。

エコトンの着ぐるみは、福岡県が昨年度末に作製、管理する新エコトン1号と、県センターが管理するバルーン型のエコトン2号の二体があります。このうち、エコトン2号は貸出申込が重複することがしばしば発生しており、今後はエコトン1号との調整を図っていきます。なお、エコトン2号については、今年度2回のクリーニングを行いました。

啓発用資材としてエコトンシール5,000枚を新規に印刷しました。また、地球温暖化に関する情報誌及び冊子、統計資料を購入しました。

啓発活動資材の年間貸出申込数は45件（昨年度40件）で、項目別の延べ貸出回数は、DVD・ビデオ等が11回、パネルが18セット、計測機器・装置等が55組でした（表-5）。上記以外の大型資材の貸出として、「エコトンの着ぐるみ」が42件（昨年度33件、福岡県環境保全課利用分を含まず）、「エコトン輪投げ」が3件（昨年度2件）でした。

平成28年度は大型資材として、推進員からの要望が高かった、エコトンパネルを新規に作製しました（図-13）。



図-13 エコトンパネル

表-5 平成28年度の貸出資材（DVD、パネル、計測機器等）上位5項目

No.	DVD・ビデオ		啓発パネル		計測機器・装置	
		数量		数量		数量
1	環境学習DVD見直そうわたしたちの暮らし	3	エコトンファミリーの減CO2大作戦	7	LED・電球エネルギー比較実験器	14
2	気候変動への挑戦	3	地球温暖化ってなんだろう	7	パネルクイズセット（ガラポン抽選器）	8
3	—	—	3つのR	3	パネルシアター	4
4	—	—	つながっている、私たちの暮らしと地球環境問題	1	のぼり旗、横断幕	3
5	—	—	—	—	ワットアワーメーター	3
	その他	5	その他	0	その他	23
	合計	11	合計	18	合計	55

<県環境事務所の貸出しツール補充>

県内6箇所にある県保健福祉環境事務所は、管内の推進員の活動支援機関として機能しています。県センターでは、推進員活動の支援として、各県保健福祉環境事務所に啓発用ツールやイベント資材を配備・補充しています(表-6)。

平成28年度は、推進員連絡会のときに貸出ツールのチェックを実施し、磨耗したり、故障したりしたものがあつたので、ゼネコン用ライト実験ボックス3セット等を購入し、交換しました。

表-6 県環境事務所に配備している啓発ツール等

No.	貸出し資材	内 容
1	啓発用パネル1	「地球温暖化ってなんだろう」(A1、10枚組み)
2	啓発用パネル2	「つながっている!私たちの暮らしと地球環境問題」(A1、1枚)
3	啓発用パネル3	「エコトンファミリーの「減CO ₂ (げんこつ)」大作戦」(A1、8枚組み)
4	子供向け紙芝居	「エコトンのちきゅうがたいへん!」(A2、15枚)
5	省エネ実験機器	ゼネコン用ライト実験ボックス1セット
6	啓発用DVD1	「地球温暖化 今、私たちにできること」1セット(一般向け)
7	啓発用DVD2	「見直そう わたしたちの暮らし」2セット(子供向け)
8	イベント資材1	ガラポン抽選機 1台
9	イベント資材2	バインダー20個、鉛筆50本、赤鉛筆20本、金定規3本(環境クイズ用)
10	イベント資材3	推進員スタッフベスト10着、推進員ノボリ5枚
11	科学実験装置	太陽光発電、燃料電池キット(各1つ)
12	園児向け紙芝居A	「地球温暖化ってなあに?」(A2、11枚組み)
13	園児向け紙芝居B	「エコトンファミリーのエコチャレンジ!」(A2、13枚組み)
14	園児向け紙芝居C	「おいしいエコみつけよう!」(A2、7枚組み、マグネットシート付き)
15	ビーチボール地球儀	直径40cm、蛍光塗料で世界中の夜間の電灯がわかる
16	省エネ実験機器	LED・電球エネルギー比較実験器1セット
17	節水タワー	一人当たり必要な生活用水の量の牛乳パックブロック(袋入り)

備考:網掛けNo.16,17が平成28年度補充分を示す。

啓発用パネルについては、地域イベント等で毎年パネルクイズを行っていますが、イベントのクイズ参加者から「毎年同じ」を指摘する声があり、パネルの情報が旧くなっていることから、今後更新していく必要があります。

2-2 推進員及び推進員地域連絡会等の活動支援

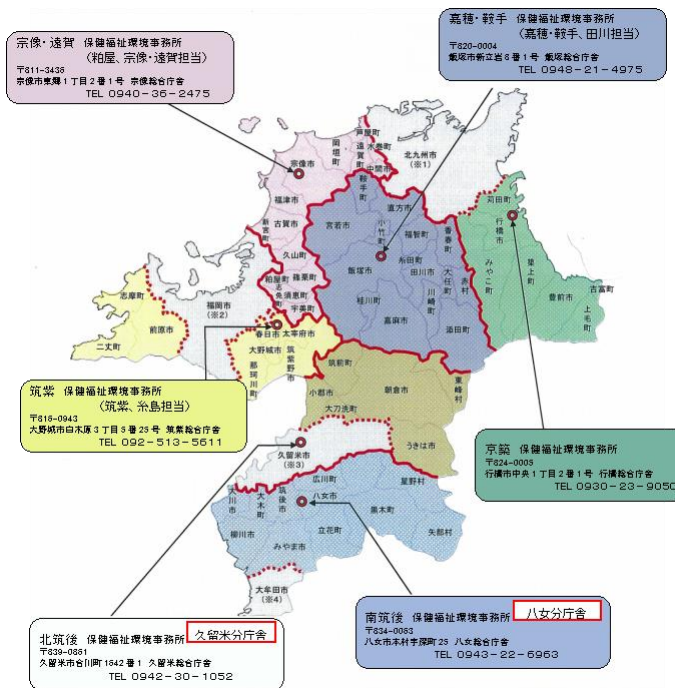
(1) 推進員地域連絡会とその支援体制

県センターでは、平成 21 年 10 月の県保健福祉環境事務所再編に合わせて、各事務所の環境部門が所管する 6 地域（市町村）をベースに、政令市や中核市等を含めた地域区分を行いました。県保健福祉環境事務所を中心とした行政と推進員間の連携強化を図る目的で、6 つの推進員地域連絡会を設置し、地域特性を踏まえた推進員の連携活動を支援する体制を構築しています（図-14、15、表-7）。

<推進員地域連絡会の主な設置目的>

- ・ 推進員同士や行政と推進員の情報・意見交換の場づくり
- ・ 地域特性を踏まえた推進員活動の企画・調整・実施
- ・ その他、推進員活動の推進に係わる事項の検討の場

県保健福祉環境事務所では、管轄地域の地球温暖化対策を推進するために、管内市町村の担当者や推進員リーダー等を構成員とする地球温暖化対策協議会を設置し、連絡調整を行っています。



※本地図は平成 20 年 10 月時点の市町村行政区域で示す。

図-14 県保健福祉環境事務所の管轄地域

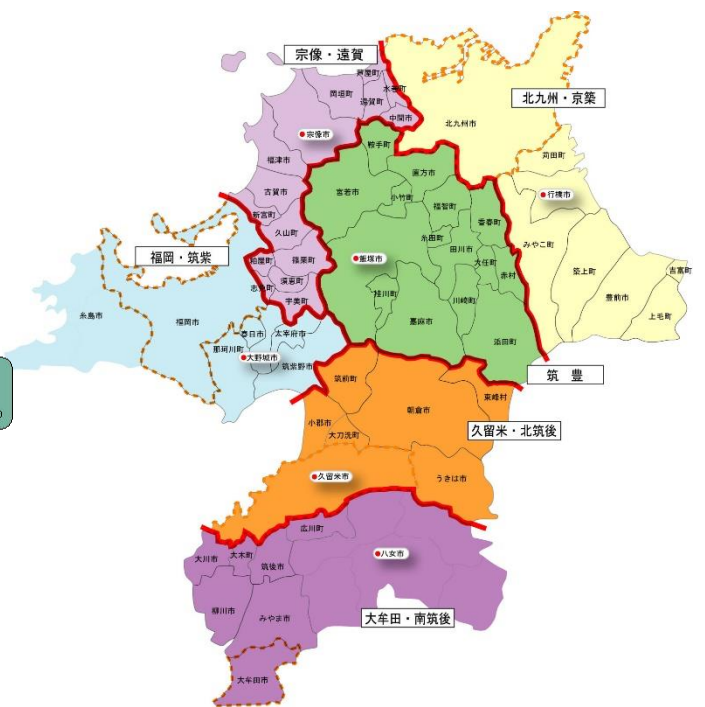


図-15 推進員地域連絡会の地域区分

表-7 推進員地域連絡会の構成等

(平成 29 年 3 月末現在)

地域連絡会名	所属推進員	推進員リーダー	サブリーダー	地域の環境マイスター
福岡・筑紫	19 名	山田恵美	坂本朱美	—
宗像・遠賀	15 名	丸尾哲郎	印藤康修、占部美保	越智信雄、佐藤直美
北九州・京築	19 名	川島伸治	中馬慶太、松岡麻利子	—
筑豊	23 名	原中 賢	星野フズ子、宮崎敦史	依田浩敏
久留米・北筑後	11 名	別府正俊	高倉保之、幾竹曠美	宮寺 健
大牟田・南筑後	12 名	石橋貞子	森 壽泰	荒木フサエ
6 地域	99 名	6 名	10 名	5 名

県及び県保健福祉環境事務所、県センターでは、推進員活動を支援する体制を整備しています（図-16）。

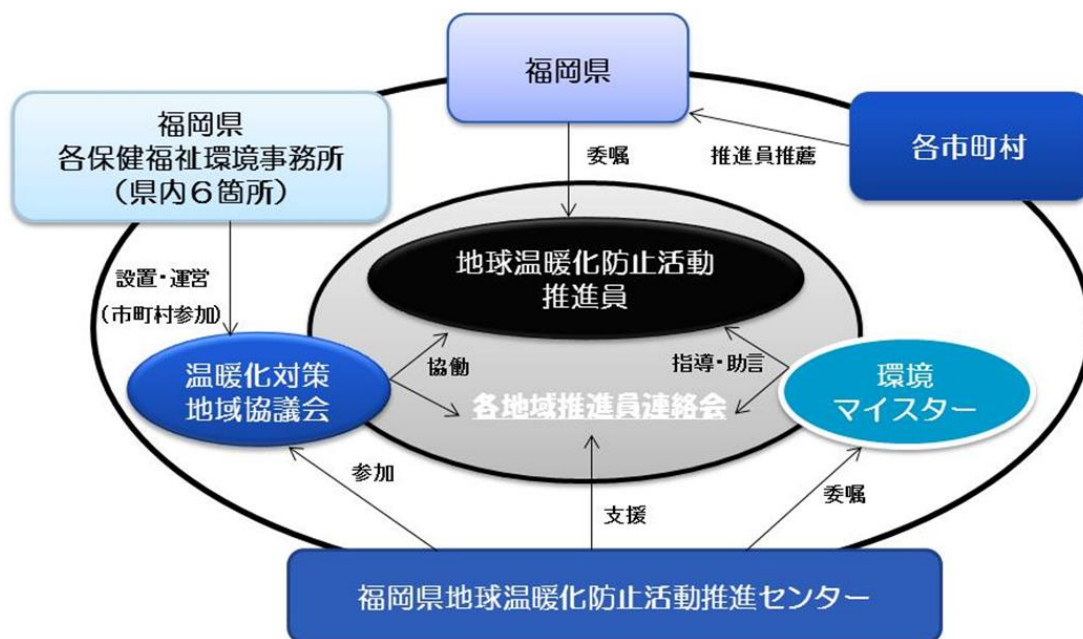


図-16 推進員の活動支援体制イメージ図

(2) 「地域連携エコ活動支援金」による推進員地域連携活動の支援

推進員地域連絡会で決定した地域協働で行う地球温暖化防止に寄与する普及啓発活動に対して、「地域連携エコ活動支援金」を活用して推進員の地域連携活動を支援しました。

この「地域連携エコ活動支援金」は、推進員地域連絡会で地域特性を踏まえた実効性・主体性のある活動を企画し、県環境事務所や自治体と連携協力しながら展開できるように、その地域活動を資金面から支援するものであり、資金活用に当たってはルールをまとめました（表-8、図-17）。

表-8 地域連携エコ活動支援金の概要

対象とする活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内6つの推進員地域連絡会が、企画・実施する地球温暖化防止に寄与する地域活動（各地域連絡会から提出された地域活動計画書に基づく活動と経費）を支援の対象とします。 ・ 地域活動計画を協議・決定する際には、推進員リーダー及び推進員サブリーダーが予算や地域配分を考慮し、確認した後、県センター長が承認することを条件とします。 <p>※：事後での承認は、行いません。</p>
支援金の限度額	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域連絡会に対し年間25万円（税込み）とします。
支援対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動を行うために必要な以下の経費を対象とします。 ① 推進員等の交通費 ② 講師等の日当、交通費 ③ 景品等の消耗品費（3千円上限） ④ コピー、ポスター作成用の印刷製本費 ⑤ 資材・郵便等の通信運搬費 ⑥ レンタカーや機材・装置等の借料・損料 ⑦ 会議費 ⑧ 外部アルバイト等の日当、交通費 ⑨ 会場設営等の委託費 ⑩ その他必要な経費で県センター長が認めたもの <p>※：食料費や協賛金等には使用できません。</p>

平成28年度は、従来の推進員活動に加え、環境省の補助事業で行った「環境家計簿学習会」の実施に向け、推進員自らが講師になるために講習会や練習会を各地域で行いました。また、環境家計簿学習会ではエコファミリーの勧誘活動が積極的に行われました。

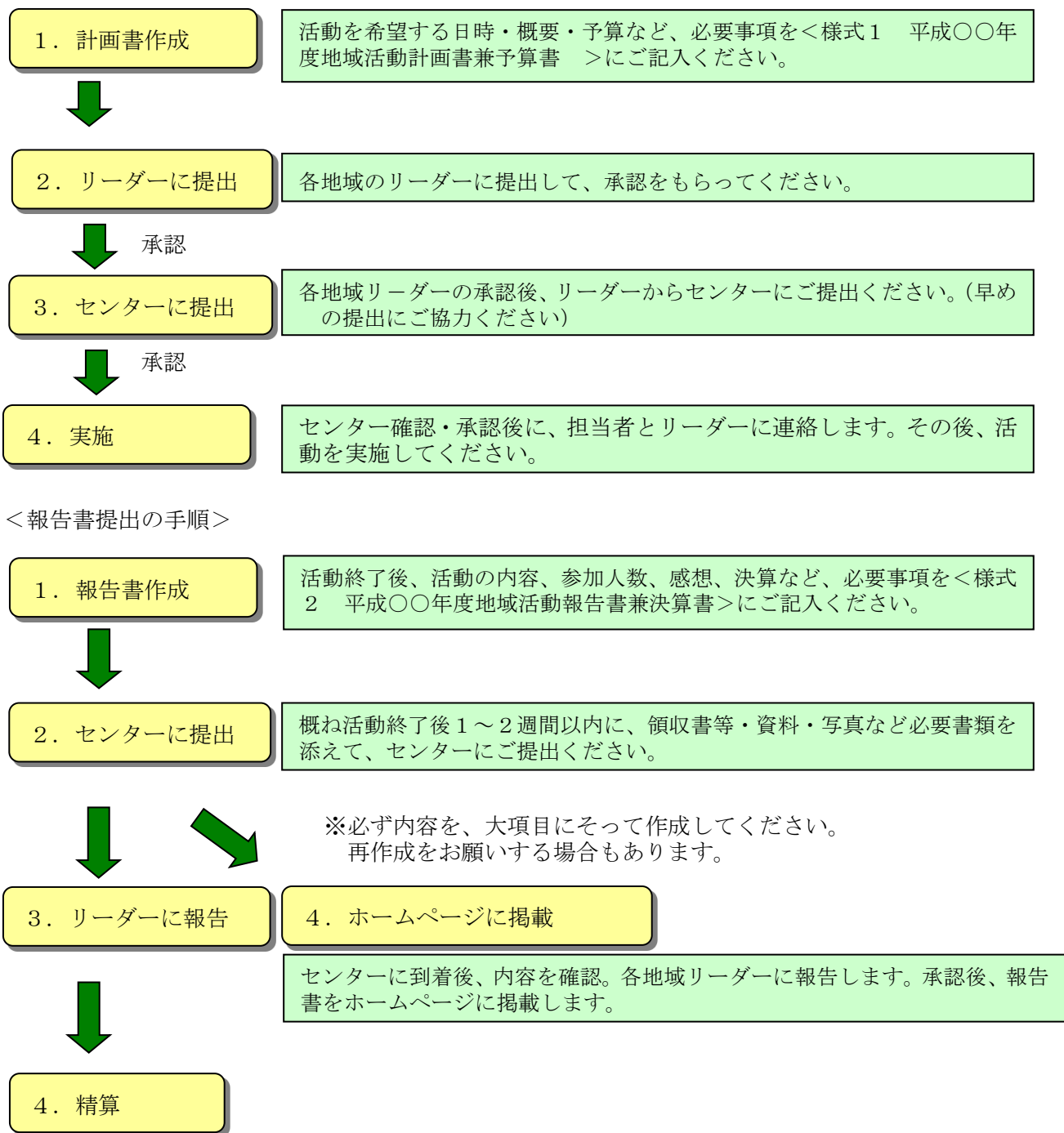


図-17 地域活動計画書及び報告書の提出手順

(3) 推進員地域連絡会の活動状況

県内6地域において、毎年推進員地域連絡会が各々3回開催されています。地域連絡会では市町村単位で行われる地域イベントの計画や実績報告、並びに推進員相互で情報交換が行われています。各地域の推進員地域連絡会の活動状況は以下のとおりです。

【福岡・筑紫地域推進員連絡会】

福岡・筑紫地域は、活動に対する熱意があり意識の高い推進員がいますが、個々人で活動する推進員や自治体職員と兼務する推進員が多く、推進員連絡会に全員が一堂に会する機会が少ないことが課題といえます。

平成28年度は糸島市推進員の尽力の甲斐あって、行政との連携によるイベントが2回実施され、イベント会場で多くのエコファミリー獲得につながりました。



図-18 第1回推進員連絡会開催の様子

表-9 福岡・筑紫地域の推進員地域連絡会の活動実績

No.	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数 (人)	CO2削減効果 (t-CO2/年)
-	第1回推進員連絡会	平成28年5月26日	筑紫保健福祉環境事務所	・今年度活動計画について ・その他連絡事項	—	—
-	第2回推進員連絡会	平成28年7月11日	筑紫保健福祉環境事務所	・平成28年度地域活動計画 ・その他	—	—
-	第3回推進員連絡会	平成29年1月27日	筑紫保健福祉環境事務所	・平成28年度の活動報告について	—	—
1	手をつなぐ 糸島市民のつどい	平成28年6月25日	伊都文化会館	・環境パネルの展示 ・環境クイズ、アンケート	150	23.0
2	糸島市民まつり	平成28年10月1,2日	糸島市役所 旧志摩庁舎	・ブース出展 ・環境クイズ	700	58.7
3	春日市環境フェア	平成28年10月16日	春日市役所	・温暖化防止パネル展示、クイズ ・エコファミリーの勧誘 ・エコトン写真撮影	215	27.0
4	筑紫野市環境フェア	平成28年11月20日	筑紫野市生涯学習センター イベント広場	・3Rの啓発パネル展示 ・ペットボトルプレスレット、 小物入れづくり体験	130	—
合計					1,195	108.7

【宗像・遠賀地域推進員連絡会】

宗像・遠賀地域は、第1回推進員連絡会には、推進員と市町村の担当者が原則同席するようになっており、推進員と行政連携がうまくいっている地域といえます。

また、同地域に所属する推進員同士のつながりが強いほか、個別の活動も積極的に展開されています。



図-19 第1回推進員連絡会開催の様子

表-10 宗像・遠賀地域の推進員地域連絡会の活動実績

No.	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数 (人)	CO2削減効果 (t-CO2/年)
-	第1回推進員連絡会	平成28年5月13日	宗像総合庁舎	・昨年度地域活動の振り返りと新年度地域活動予定 ・環境関連行事の概要とそれに関する質疑応答 ・その他連絡事項	—	—
-	第2回推進員連絡会	平成28年9月21日	福津市立福岡会館	・今年度地域活動計画 ・その他連絡事項	—	—
-	第3回推進員連絡会	平成29年2月24日	福津市立福岡会館	・平成28年度の活動報告について	—	—
1	おながこどもまつり	平成28年4月29日	遠賀総合運動公園	・パネル展示 ・環境クイズ ・電気自動車の仕組みについて	211	25.2
2	中間市 やっちゃんエコライフ 2016	平成28年6月12日	中間市民の各家庭	・市内の全小中高校生に学校を通じてチェック シートを配布	6,870	—
3	まつり岡垣	平成28年10月16日	岡垣サンリーアイ	・パネル展示 ・環境クイズ ・新聞紙でペバ鉛筆作り	200	28.9
4	篠栗町文化祭	平成28年10月30日	オアシス篠栗前テント	・パネル展示 ・エコクイズ ・リサイクル工作	200	—
5	わっしょいかすや こどもの日	平成28年11月5日	かすやこども館	・エコファミリーの募集 ・パネル展示	30	—
6	むなかた環境フェスタ 2016	平成28年11月23日	メイトム宗像	・環境パネルを使って地球温暖化クイズ ・エコファミリーの登録状況紹介募集 ・ごみの現状と家庭ごみの減量手法に ついてパネルで説明	430	60.5
7	松原探検と海の宝物 ワークショップ	平成28年11月27日	新宮町松原・海岸	・11月27日開催予定が、雨天中止 ・すでに材料費・保険代が 発生しているため精算	—	—
8	芦屋町人権まつり	平成28年12月10日	芦屋町町民会館	・地球温暖化防止パネルクイズ ・LED輪投げ ・手回し発電体験	106	14.8
9	水巻町 環境出前講座	平成28年6月18日 平成29年1月18日	水巻町立 吉田小学校 水巻町立 杵小学校	・小学校4年生および保護者を対象 に、地域の遠賀川的环境課題を テーマに出前講座	98	—
10	古賀市 エコドライブ教習会	平成29年1月21日	古賀市役所会議室と 周辺公道	・座学 ・実車教習	15	—
合計					8,160	129.4

【北九州・京築地域推進員連絡会】

北九州・京築地域は、北九州市が「環境都市」という背景もあって、個々人の環境関連活動が顕著です。最近、北九州市では推進員と行政担当者による意見交換会を開催しており、推進員と行政との連携が図られています。

また、ママトン会議の講演先開拓部会（平成26～27年度環境省補助事業にて実施）に所属していた苅田町推進員の働きかけで、行政と連携したエコ出前講座が定着してきています。



図-20 第1回推進員連絡会開催の様子

表-11 北九州・京築地域の推進員地域連絡会の活動実績

No.	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数 (人)	CO2削減効果 (t-CO2/年)
-	第1回推進員連絡会	平成28年5月23日	行橋総合庁舎別館1階	・今年度活動計画について ・その他連絡事項	—	—
-	第2回推進員連絡会	平成29年2月20日	行橋総合庁舎 本館4階 第4会議室	・平成28年度の活動報告について	—	—
1	第2回 北九州市推進員意見交換会	平成28年7月15日	北九州市役所 会議室	・北九州市推進員と北九州市役所担当者 との意見交換	12	—
2	北九州エコライフステージ 2016	平成28年10月8～9日	北九州市役所と リバーウォーク周辺広場	・地球温暖化防止パネル展示 ・パネルクイズ ・エコファミリー登録のお願い	250	34.3
3	第34回 ゆくはしふくしまつり	平成28年10月30日	行橋市総合福祉センター ウイズ行橋	・地球温暖化防止パネル展示 ・パネルクイズ	267	34.5
4	苅田町 地産地消フェア	平成28年12月18日	苅田町役場東側駐車場	・地球温暖化防止パネル展示 ・温暖化防止クイズ ・ゴミの分別クイズ	550	54.3
合計					1,079	123.1

【筑豊地域推進員連絡会】

筑豊地域では、飯塚・田川・直方と地域が更に3つに分かれて活動が展開されており、小グループにまとまることで、より密な連携と実効性が高まっています。特に、飯塚では市の担当者と推進員らの連携が進み、相互の協力体制のもと市内でエコ出前講座が実施されました。



図-21 第1回推進員連絡会開催の様子

表-12 筑豊地域の推進員地域連絡会の活動実績

No.	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数 (人)	CO2削減効果 (t-CO2/年)
-	第1回推進員連絡会	平成28年6月2日	飯塚総合庁舎 別棟会議室	・筑豊地域連絡会の活動計画づくり	—	—
-	第2回推進員連絡会	平成28年7月7日	飯塚総合庁舎	・筑豊地域連絡会の活動計画について ・その他連絡事項	—	—
-	第3回推進員連絡会	平成29年2月14日	飯塚総合庁舎	・推進員の活動報告まとめ	—	—
1	緑のカーテン エコプロジェクト	平成28年6月4日	飯塚市役所玄関前	・パネル展示 ・マイバッグ運動推進のポスター掲示 ・アンケート回収 ・エコファミリーの募集 ・ゴーヤと風船かずらの種の配布	85	6.1
2	田川地域 年間計画打合せ	平成28年6月30日	福智町金田 松山推進員宅	・田川地域での本年度計画について	6	—
3	田川市 打ち水大作戦	平成28年8月3日	田川市市民会館	・エコファミリー宣言の呼びかけ ・打ち水	80	—
4	打ち水大作戦2016inいづか	平成28年8月5日	飯塚市役所玄関前	・エコファミリーの募集	17	1.3
5	I LOVE ふくちフェスタ	平成28年8月5日	田川郡福智町金田新町商店街	・ブース出展 ・環境クイズ	200	—
6	桂川町 筑豊地区統一行動 「打ち水大作戦」	平成28年8月7日	普来寺保育園	・打ち水 ・遠賀川の生き物に触れる体験など	65	—
7	飯塚市 エコ出前講座打ち合わせ	平成28年8月24日	エコ工房	・エコ出前講座の打ち合わせ	5	—
8	桂川町 エコ出前講座	平成28年8月30日	桂川東小学校学童保育所	・地球温暖化についてのお話、紙芝居など	30	—
9	宮若市ふるさと祭り 環境ブースの出展	平成28年10月30日	宮若市西鞍の丘運動公園	・パネル展示 ・環境クイズ ・ダンボールコンポスト体験 ・うちエコ診断	150	—
10	飯塚市 エコ工房まつり	平成28年11月6日	飯塚市リサイクル工房棟 エコ工房	・パネル展示 ・エコファミリーの募集 ・缶バッジ作り	114	—
11	エコスタいづか	平成29年2月11日	飯塚第一体育館	・パネル展示 ・うちエコ診断 ・アンケート実施	219	42.4
12	幸袋小学校 小学4年生 環境学習教室	平成29年2月17日	飯塚市幸袋小学校	・水からのアプローチによる地球温暖化防止の講座	46	—
合計					1,017	49.9

【久留米・北筑後地域推進員連絡会】

昨年度末にリーダー及びサブリーダーの交代があり、新たに別府正俊氏が推進員リーダーとなりました。当該地域の特徴は、推進員全員の連携体制が強固で、各イベントでの推進員同士の協力体制がうまく機能しています。平成28年度は、行政経験のある推進員の動きが顕著に表れ、環境家計簿学習会の実施につながりました。



図-22 第1回推進員連絡会開催の様子

表-13 久留米・北筑後地域の推進員地域連絡会の活動実績

No.	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数 (人)	CO2削減効果 (t-CO2/年)
-	第1回推進員連絡会	平成28年4月25日	久留米総合庁舎2階	・今年度活動計画について ・市町村から推進員への要望、連携提案等 ・その他連絡事項	—	—
-	第2回推進員連絡会	平成28年10月6日	久留米総合庁舎2階	・推進員活動報告 ・その他連絡事項	—	—
-	第3回推進員連絡会	平成29年2月24日	久留米総合庁舎	・平成28年度の活動報告について	—	—
1	第11回朝倉市民祭 「あさくらにぎわっ祭」	平成28年5月14日	朝倉市宮野2046-1付近	・ブース出展 ・環境パネルの展示 ・参加者宣言アンケートの実施	254	35.5
2	久留米市環境フェア	平成28年6月5日	久留米市百年公園	・ブース出展 ・環境クイズ	989	133.3
3	のぞみが丘生楽館 地域文化祭	平成28年10月16日	小郡市 のぞみが丘小学校	・ブース出展 ・環境クイズ	412	53.3
4	筑前町 子どものつどい	平成28年10月16日	筑前町 めくばーる町民ホール周辺	・ブース出展 ・環境クイズ	320	38.8
5	小郡市アンビフェスタ	平成28年10月23日	小郡市生涯学習センター	・ブース出展 ・環境クイズ	331	50.9
6	第43回 大刀洗町ドリームまつり	平成28年11月13日	大刀洗町役場敷地内	・環境クイズの実施 ・啓発パンフレット配布	500	65.1
合計					2,806	377.0

【大牟田・南筑後地域推進員連絡会】

大牟田・南筑後地域は、地域連絡会には毎回行政担当者と推進員が同席するようになっており、推進員と行政担当者との関係がうまく構築されています。その結果、環境家計簿学習会の実施へとつながりました。



図-23 第1回推進員連絡会開催の様子

表-14 大牟田・南筑後地域の推進員地域連絡会の活動実績

No.	活動名	活動日	活動場所	活動内容	参加者数 (人)	CO2削減効果 (t-CO2/年)
-	第1回推進員連絡会	平成28年6月15日	南筑後保健福祉環境事務所	・今年度活動計画について	—	—
-	第2回推進員連絡会	平成28年8月2日	南筑後保健福祉環境事務所	・年間計画の提出について ・その他連絡事項	—	—
-	第3回推進員連絡会	平成29年2月9日	南筑後保健福祉環境事務所	・平成28年度の活動報告について	—	—
1	クールアース・デー記念 街頭啓発事業	平成28年7月7日	大牟田駅前 ゆめタウン大牟田 イオンモール大牟田	・市民へ夏の省エネ節電協力および福岡県 省エネ・節電県民運動への参加、大牟田 市グリーンカーテンコンテストへの応募 を呼びかけ	1,959	—
2	環境家計簿を使った講座 講師育成のための学習会	平成28年8月23,31日	北筑後保健福祉環境事務所	・北筑後連絡会が実施した学習会 に参加見学	12	—
3	広川まつり	平成28年10月16日	広川中学校	・ブース出展 ・環境クイズ	1,000	—
4	大木町さるこいフェスタ	平成28年10月30日	大木町アクアス	・ブース出展 ・環境クイズ	150	23.5
5	筑後市 健康と食育の祭典 with環境フェスタ	平成28年11月13日	サザンクス筑後 市民の森公園	・ブース出展 ・環境クイズ	200	29.3
6	第5回 大牟田市 緑のカーテンコンテスト	平成28年11月13日	大牟田市役所 大牟田市エコタウンセンター	・事前打合せ ・選考会 ・表彰式 エコタウンフェアの啓発 ブース内で作品を展示	9	—
7	おおむたエコタウンフェア	平成28年11月13日	大牟田市エコタウンセンター	・地球温暖化防止クイズ ・エコトン塗り絵 (未就学児童向け) ・発電タイムトライアル	260	11.8
8	大川環境王2016	平成29年2月19日	大川文化センター	・パネルを使ったクイズ	150	19.6
合計					3,740	84.2

各地域の推進員活動の実施結果については、県センターのホームページ内にある推進員活動紹介のページに掲載しており、各地域の活動の様子を閲覧できるようにしています（図-24）。また、今年度は県の担当者との連携により、イベントカレンダーの運用に力を入れ、各地域で行われるイベント情報の情報発信を充実するようにしました（図-25）。



図-24 推進員活動紹介のページ



図-25 イベントカレンダー

(4) 各地域の推進員リーダー会議

平成 28 年度初めには福岡県の主導で推進員リーダー会議が行われ、各地域の推進員活動の状況、課題等が議論されました。会議の中では、活動支援金の主な用途が景品代になっていることが話題となり、従来と異なる支援金の用途が課題という意見が出ました。これは、推進員活動の幅を広げ、よりレベルの高い活動の展開を目指す上で重要なことでもあります。このような有意義な会議が今後も継続していくことが期待されます。

(5) 推進員活動を支援する「ふくおか環境マイスター」の派遣

平成 25 年 5 月の推進員アドバイザー制度の廃止に伴い、各地域推進員連絡会の専門家派遣の要請、並びに県センター事業の支援者として、講師派遣制度の「ふくおか環境マイスター」に登録している専門家を推進員地域連絡会に派遣しています。

「ふくおか環境マイスター」として派遣した専門家は表-15 に示すとおりです。

表-15 地域支援のふくおか環境マイスター一覧

氏名	所属等	担当地域
越智 信雄	環境コンサルタント、エコアクション 21 審査人	宗像・遠賀
佐藤 直美	元推進員、高校教師	
依田 浩敏	近畿大学産業理工学部教授、ふくおか環境カウンセラー協会理事長	筑豊
宮寺 健	九州環境カウンセラー協会前理事長、エコアクション 21 審査人	久留米・北筑後
荒木 フサエ	元推進員、環境団体代表	大牟田・南筑後

(6) イベント等で使用する景品の整備とエコトングズの開発

推進員活動を支援するため、イベント等で配布する景品を整備しました（図-26）。

景品一覧 その1				2016年10月現在			
				この景品は、環境省地球環境教育推進センターで完備しているものです。 地球環境エコ博覧会などで景品を輸入される場合、この一覧以外の販売の件名と必ず併し、購入することができます。 ※価格は税込み価格です。			
商品名 ① スーパーエコバックシート サイズ 20×20×10cm 景品 200個 販売代 200円 在庫数 200個 その他	商品名 ② ショッピングエコバック サイズ 約42×12.5×22cm 景品 200個 販売代 180円 在庫数 200個 その他 印刷、色がかわることがあります	商品名 ③ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ④ コストパフォーマンス抜群のストラップ付きLEDライト サイズ 約10cm 景品 200個 販売代 120円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑤ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑥ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑦ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑧ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他
				この景品は、環境省地球環境教育推進センターで完備しているものです。 地球環境エコ博覧会などで景品を輸入される場合、この一覧以外の販売の件名と必ず併し、購入することができます。 ※価格は税込み価格です。			
商品名 ⑨ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑩ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑪ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑫ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑬ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑭ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑮ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑯ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他
				この景品は、環境省地球環境教育推進センターで完備しているものです。 地球環境エコ博覧会などで景品を輸入される場合、この一覧以外の販売の件名と必ず併し、購入することができます。 ※価格は税込み価格です。			
商品名 ⑰ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑱ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑲ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ⑳ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉑ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉒ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉓ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉔ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他
				この景品は、環境省地球環境教育推進センターで完備しているものです。 地球環境エコ博覧会などで景品を輸入される場合、この一覧以外の販売の件名と必ず併し、購入することができます。 ※価格は税込み価格です。			
商品名 ㉕ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉖ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉗ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉘ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉙ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉚ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉛ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉜ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他
				この景品は、環境省地球環境教育推進センターで完備しているものです。 地球環境エコ博覧会などで景品を輸入される場合、この一覧以外の販売の件名と必ず併し、購入することができます。 ※価格は税込み価格です。			
商品名 ㉝ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉞ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㉟ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㊱ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㊲ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㊳ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㊴ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他	商品名 ㊵ エコトングズ サイズ 約20×1.0cm 景品 200個 販売代 20円 在庫数 200個 その他

図-26 県センターで整備している景品一覧

また、推進員の要望を聞き、3種のエコトングッズを作製しました（図-27～29）。これらのグッズは推進員活動で景品として活用しました。



図-27 エコトンボールペン



図-28 エコトン鉛筆



図-29 エコントートバッグ

2-3 講師派遣制度の運用

(1) 事業概要

県センターでは、家庭や事業者などに対する直接的な普及啓発を目的として、平成 22 年度に環境省補助事業を活用し「エコサポーター派遣事業」を創設し運用してきました。この派遣事業は好評で、例年多くの県民や事業者から申込みがありましたが、より良い事業運用を目的として平成 27 年度に講師派遣制度を見直しました。

平成 28 年度は制度見直し後 1 年目にあたり、本派遣事業において、「エコアドバイザー」、「ふくおか環境マイスター」及び「うちエコ診断士」の派遣を実施しました。また、「講師派遣」に名称を変更し、ホームページも分かりやすいものに改定を行いました(図-30)。



図-30 講師派遣のページ

(2) エコアドバイザー派遣

地球温暖化に係る一般的な知見を有している者をエコアドバイザーとしてセンターに登録し、幼稚園、保育園、小学校、また一般県民を対象とした環境学習会へ派遣しました。

なお、本派遣には自発的な申込みを受け付ける「常時受付」と、幼稚園・保育園等にセンターから案内を出して申込みを受けて講師を派遣する「3 世代まるごとエコ活動」の 2 種類があります(図-31、32)。



図-31 エコアドバイザー派遣のページ

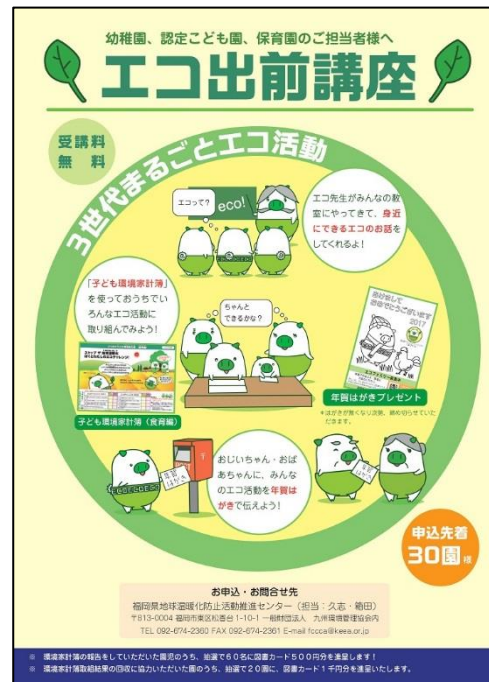


図-32 エコ出前講座の案内チラシ

① 常時受付における派遣実績

平成 28 年度の派遣実施件数は 62 件、合計受講者数は 3,929 名で、計画比 124%（計画件数：50 件）となり、目標を大きく上回りました（表-16）。

表-16 常時受付によるエコアドバイザー派遣実績

No.	実施日	講演会名(実施テーマ)	申請団体	講師氏名	対象	参加者数
1	平成 28 年 4 月 17 日	緑のカーテン講習会	小郡市生活環境課	たいら由以子	市民	38
2	平成 28 年 5 月 13 日	家庭でできる省エネ・節電講座	古賀市	中屋 允雄	4 年	61
3	平成 28 年 5 月 14 日	苗の植え方講習会	古賀市	宿理 英彦	市民	54
4	平成 28 年 5 月 18 日	グリーンカーテンに挑戦しよう！in 千鳥	古賀市	吉見 一郎	市民	99
5	平成 28 年 5 月 27 日	エコ出前授業	日佐小学校	平川 由記子	4 年	73
6	平成 28 年 6 月 3 日	家庭でできる省エネ・節電講座	古賀市	蓮尾 隆	4 年	42
7	平成 28 年 6 月 9 日	エコ出前授業	八見小学校	矢野 真佐美	4 年	50
8	平成 28 年 6 月 9 日	エコ出前授業	飯原小学校	渡邊 裕子	4 年	73
9	平成 28 年 6 月 14 日	エコ出前授業	日の里東小学校	大谷 光男	4 年	53
10	平成 28 年 6 月 16 日	エコ出前授業	古賀東小学校	矢野 真佐美	4 年	73
11	平成 28 年 6 月 17 日	エコ出前授業	水城西小学校	清水 佳香	4 年	130
12	平成 28 年 6 月 22 日	エコ出前授業	西川小学校	矢野 真佐美	4,5 年	21
13	平成 28 年 6 月 22 日	エコ出前授業	香椎東小学校	清水 佳香	5 年	130
14	平成 28 年 6 月 24 日	エコ出前講座	暁の星幼稚園	津留 真希	園児	102
15	平成 28 年 6 月 28 日	エコ出前授業	東箱崎小学校	矢野 真佐美	5 年	50
16	平成 28 年 6 月 28 日	エコ出前授業	与原小学校	松岡 麻利子	5 年	85
17	平成 28 年 7 月 7 日	エコ出前講座	三奈木保育所	山田 恵美	園児 保護者	100
18	平成 28 年 7 月 8 日	エコ出前授業	若松中央小学校	清水 佳香	4 年	60
19	平成 28 年 7 月 11 日	エコ出前授業	南原小学校	松岡 麻利子	4 年	66
20	平成 28 年 7 月 13 日	エコ出前授業	島門小学校	渡邊 裕子	5 年	92
21	平成 28 年 7 月 14 日	エコ出前授業	島門小学校	渡邊 裕子	6 年	68
22	平成 28 年 7 月 28 日	エコ出前授業	三輪小学童みわっこ SUNSUN クラブ	別府 正俊	1~2 年	59
23	平成 28 年 7 月 29 日	エコ出前授業	木佐木学童保育所	荒木 フサエ	1~3 年	63
24	平成 28 年 8 月 1 日	エコ出前授業	中傘田小学童 すくすくクラブ	別府 正俊	1~2 年	67
25	平成 28 年 8 月 2 日	エコ出前授業	伊田児童クラブ	鬼塚 やよい	小学生	87
26	平成 28 年 8 月 4 日	エコ出前授業	東小田小学童 のびのびクラブ	別府 正俊	1~2 年	66
27	平成 28 年 8 月 4 日	エコ出前授業	田川児童クラブ	鬼塚 やよい	小学生	50
28	平成 28 年 8 月 7 日	学ぶわくわく教室	自由が丘地区コミュニ ティ運営協議会 青少年育 成部会	大谷 光男	小学生	37

29	平成 28 年 8 月 8 日	エコ出前授業	中津原学童保育	鬼塚 やよい	1~4 年	24
30	平成 28 年 8 月 19 日	エコ出前講座	大莞学童保育所	益田 隆一	1~3 年	54
31	平成 28 年 8 月 22 日	エコ出前授業	採銅所小学童	鬼塚 やよい	小学生	17
32	平成 28 年 8 月 23 日	エコ出前講座	大濠すくすく保育園	山田 恵美	園児	24
33	平成 28 年 8 月 25 日	エコ出前授業	大藪児童クラブ	鬼塚 やよい	小学生	30
34	平成 28 年 8 月 26 日	エコ出前授業	猪位金児童クラブ	鬼塚 やよい	小学生	26
35	平成 28 年 8 月 30 日	エコ出前講座	大木光の子幼稚園	荒木 フサエ	園児	111
36	平成 28 年 8 月 30 日	エコ出前授業	弓削田児童クラブ	平野 アキ子	小学生	40
37	平成 28 年 9 月 2 日	温暖化とエコな掃除	グリーンコープ子育てサ ポート	梅崎 由美子	市民	5
38	平成 28 年 9 月 8 日	エコ出前授業	安德南小学校	清水 佳香	4 年	136
39	平成 28 年 9 月 9 日	エコ出前授業	日の里西小学校	平川 由記子	5 年	58
40	平成 28 年 9 月 16 日	エコ出前授業	香春町役場	鬼塚 やよい	4 年	20
41	平成 28 年 9 月 24 日	東っ子フェスタ	新宮東小学校	矢野 真佐美	小学生	120
42	平成 28 年 9 月 26 日	エコ出前授業	古賀西小学校	平川 由記子	小学生	73
43	平成 28 年 9 月 28 日	エコ出前授業	自由が丘南小学校	矢野 真佐美	小学生	79
44	平成 28 年 10 月 6 日	エコ出前授業	千鳥小学校	渡邊 裕子	4 年	60
45	平成 28 年 10 月 7 日	エコ出前授業	河東西小学校	大谷 光男	4 年	85
46	平成 28 年 10 月 30 日	正しく知ろう地球温暖化 ワクワク教室	池野コミュニティ運営協 議会青少年育成部会	大谷 光男	小学生	23
47	平成 28 年 10 月 31 日	エコ出前授業	宇美東小学校	平川 由記子	3 年	61
48	平成 28 年 11 月 10 日	エコ出前授業	玄海小学校	大谷 光男	4 年	21
49	平成 28 年 11 月 12 日	エコ出前授業	福間小学校	矢野 真佐美	小学生	64
50	平成 28 年 11 月 26 日	エコ出前授業	山田小学校	矢野 真佐美	4 年 保護者	138
51	平成 28 年 12 月 1 日	エコ出前授業	自由ヶ丘小学校	大谷 光男	4 年	85
52	平成 28 年 12 月 8 日	エコ出前授業	香椎小学校	渡邊 裕子	5 年	118
53	平成 28 年 12 月 14 日	エコ出前授業	片島小学校	松岡 麻利子	4 年	7
54	平成 29 年 1 月 12 日	エコ出前授業	宇美小学校	清水 佳香	6 年	59
55	平成 29 年 1 月 13 日	エコ出前授業	宇美小学校	清水 佳香	6 年	59
56	平成 29 年 1 月 25 日	エコ出前授業	若松中央小学校	渡邊 裕子	6 年	54
57	平成 29 年 1 月 30 日	エコ出前授業	馬場小学校	松岡 麻利子	2 年	61
58	平成 29 年 1 月 31 日	エコ出前授業	若松中央小学校	矢野 真佐美	5 年	22
59	平成 29 年 2 月 1 日	エコ出前授業	古賀市環境課	吉見 一郎	4 年	61
60	平成 29 年 2 月 2 日	エコ出前授業	古賀市環境課	蓮尾 隆	4 年	42
61	平成 29 年 2 月 14 日	エコ出前授業	篠栗小学校	大谷 光男	3 年	85
62	平成 29 年 3 月 13 日	エコ出前授業	古賀市環境課	武田 京子	4 年	58
					合計	3,929



図-33 エコ出前授業（日の里東小：宗像市）



図-34 エコ出前授業（南原小：苅田町）



図-35 エコ出前授業（木佐木学童：大木町）

② 三世代まるごとエコ活動（エコ出前講座）における派遣実績

平成28年度の派遣実施件数は45件、合計受講者数は2,919名で、計画比150%（計画件数：30件）となり、目標を上回りました（表-17）。

表-17 三世代まるごとエコ活動（エコ出前講座）の実績

No.	実施日	申請団体名	講師氏名	サポート講師		参加者数
1	平成28年9月21日	平恒保育所	中村 眞弓	袖崎 隆子	西谷とも子	65
2	平成28年10月3日	昇町保育所	山田 恵美			90
3	平成28年10月6日	光沢寺第二保育園	小川 育子			45
4	平成28年10月12日	筑穂保育所	西谷とも子	袖崎 隆子	松尾 豊	65
5	平成28年10月12日	久留米育英幼稚園・保育園	山田 恵美			90
6	平成28年10月13日	大莞保育園	益田 隆一	荒木フサエ		65
7	平成28年10月19日	神崎保育所	平野アキ子	山尾 勝子	松山 範昭	83
8	平成28年10月21日	筑後中央幼稚園	荒木 フサエ			38
9	平成28年10月24日	リトルワールド博多ぎおん園	小出 まずる	小出 秀剛		24
10	平成28年10月25日	街道保育所	山田 恵美			66
11	平成28年10月26日	犀川保育所	田中 千鶴			31
12	平成28年10月26日	鴨生田保育園	久永恵美子			45
13	平成28年10月27日	大和保育所	小出まずる	小出 秀剛		78
14	平成28年10月28日	木屋瀬保育園	濱 由起子			57
15	平成28年10月28日	篠隈保育所	山田 恵美			90
16	平成28年10月29日	西牟田保育園	山田 恵美			40
17	平成28年11月7日	白鳥保育園	山田 恵美			130
18	平成28年11月10日	金田保育園	山尾 勝子	松山 範昭	平野アキ子	32
19	平成28年11月14日	北九州ソレイユ保育園	久永恵美子			60
20	平成28年11月29日	八幡保育園（八女市）	荒木 フサエ	益田 隆一		85
21	平成28年11月30日	玉川保育園	小出 まずる	小出 秀剛		96
22	平成28年12月6日	香春保育所	鬼塚やよい	平野アキ子		31
23	平成28年12月8日	同和保育所	島田由美子	鬼塚やよい		33
24	平成28年12月9日	採銅所保育所	鬼塚やよい	平野アキ子	山尾 勝子	21
25	平成28年12月15日	井掘保育園	矢野真佐美			58
26	平成28年12月15日	貫保育所	小川 育子			43
27	平成28年12月16日	勾金保育所	鬼塚やよい	平野アキ子	島田由美子	27
28	平成28年12月20日	さつき幼稚園	山田恵美			150
29	平成29年1月16日	わかぐさ保育園	永田由利子			90
30	平成29年1月17日	洗心保育園	小川育子			98
31	平成29年1月17日	門司保育所	永田由利子			53

32	平成 29 年 1 月 17 日	緑保育所	島田由美子	鬼塚やよい		42
33	平成 29 年 1 月 18 日	東青葉保育園	小出まづる	小出 秀剛		74
34	平成 29 年 1 月 18 日	中津原保育園	鬼塚やよい	平野アキ子		47
35	平成 29 年 1 月 19 日	香春幼稚園	鬼塚やよい	平野アキ子	山尾 勝子	20
36	平成 29 年 1 月 20 日	木佐木保育園	荒木フサエ			63
37	平成 29 年 1 月 20 日	宮尾保育園	鬼塚やよい	島田由美子		27
38	平成 29 年 1 月 23 日	はつねほいくえん	川島伸治	後藤加奈子		120
39	平成 29 年 1 月 27 日	あけぼの幼稚園	矢野真佐美			69
40	平成 29 年 2 月 7 日	古城保育園	小川 育子			80
41	平成 29 年 2 月 14 日	堂山保育所	小出まづる	小出 秀剛		27
42	平成 29 年 2 月 15 日	荻田町第二ひまわり保育園	松岡麻利子			66
43	平成 29 年 2 月 16 日	杉の子保育園	山田 恵美			86
44	平成 29 年 2 月 22 日	田主丸保育所	清水 佳香	平川由記子		53
45	平成 29 年 2 月 22 日	幸袋こども園	袖崎 隆子	後藤ようこ	中村 眞弓	166
					計	2,919 人



図-36 エコ出前講座（北九州ソレイユ保育園）



図-37 エコ出前講座（篠隈保育所：筑前町）



図-38 エコ出前講座（平恒保育所：飯塚市）

(3) ふくおか環境マイスター派遣

地球温暖化についての専門的な知識や知見及び資格を有する者を「ふくおか環境マイスター」として登録し、一般市民団体や企業・NPO・自治体の環境担当者、教師を対象とした企業研修会や大学生対象の講義などへ派遣しました。

平成28年度の派遣実施件数は45件、合計受講者数は1,678名で、計画比90%（計画件数：50件）となり、目標を下回りました（表-18）。

表-18 ふくおか環境マイスターの派遣実績

No.	実施テーマ	申請団体	派遣講師	実施日	対象	参加者数
1	エコアクション21 コンサルティング	有限会社ワイ・エム・エス	中島 昭一	平成28年 4月7日	従業員	1
2	エコアクション21 コンサルティング	金子建設株式会社	中島 昭一	平成28年 4月21日	従業員	2
3	NPO 法人エコけんの活動と 古賀市環境市民会議の取り組み	いづか環境会議	平川由記子	平成28年 5月11日	いづか環 境会議会員	20
4	ほたるが教えてくれること	イオン筑紫野チアーズ クラブ	中尾 明子	平成28年 5月14日	小学1年 生～中学1 年生	23
5	地球温暖化の影響を考える、地球 温暖化の状況と家庭でできるエコ	大刀洗町公民館講座 わかば講座	荒木フサエ	平成28年 5月20日	町内の70 歳代の男女	20
6	学校教育における環境教育の推進 に向けて～環境教育の基礎基本と 取組の事例～	福岡県南筑後保健福祉 環境事務所	中村重太	平成28年 6月10日	協議会参画 機関	26
7	青空学級	小郡市選挙管理委員会 事務局	林 真実	平成28年 6月10日	市民（主に 60代女 性）	18
8	筑紫女学園大学「生涯学習概論」特別 講座	森の新聞社	清水佳香	平成28年 7月7日	大学生	25
9	地球のいのちつないでいこう	大和保育所	岩熊志保	平成28年 7月12日	園児（年 長）	32
10	九州産業大学「生涯学習概論」特別 講座	森 千鶴子	清水佳香	平成28年 7月13日	大学生	86
11	みどり学級	みどり学級	林 真実	平成28年 7月15日	市民（主に 60代女 性）	15
12	「菊池 SAKURA 組女性学級」環 境講座	大刀洗町公民館講座	清水佳香	平成28年 7月21日	大刀洗町内 菊池校区在 住の女性の方	16
13	エコアクション 21 の概要と認証 範囲拡大後の活動の仕方と注意点	西部電機株式会社	越智信雄	平成28年 8月23日	社員	16
14	家庭の省エネ・節電小冊子作成の ための学習会	NPO 法人 九州山口C O2 カウンセラー協会	越智信雄	平成28年 8月23日	当NPO法 人の会員	5
15	地球温暖化と私たちの暮らし	山崎製パン(株) 福岡工 場	清水佳香	平成28年 8月29日	管理職	35
16	46億年地球の歴史と環境問題を 考える。	春日市立春日原小学校	篠原貴美恵	平成28年 9月1日	小学4年 生	81
17	地球温暖化と私たちの暮らし	志免町立志免東中学校	清水佳香	平成28年 9月14日	中学1年 生	142
18	身近な生き物昆虫	青葉保育園	岩熊志保	平成28年 10月4日	5歳児	43
19	秋休み料理体験教室（旬の食材で ちらし寿司を作ろう）	すぐっ子アンビシャス 広場	篠原貴美恵	平成28年 10月6日	小学1年 生～6年生 と保護者ボ ランティア	20
20	3R 低炭素・社会検定試験対策講習 会	3R・低炭素社会検定地 域事務局	鈴木慎也	平成28年 10月8日	一般市民・ 学生他	25
21	環境にやさしい町づくり	那珂川町住民生活部 環境課	依田浩敏	平成28年 10月13日	那珂川町環 境保全推進 員	50

22	地球温暖化と私たちの暮らし	久留米市地区環境衛生連合会	清水佳香	平成 28 年 10 月 20 日	連合会会員	450
23	EA21 フォローアップセミナー	株式会社ファイブ	池水喜義	平成 28 年 10 月 28 日	社員	35
24	エコドライブ座学研修	(株)日本医療環境サービス	宮崎文雄	平成 28 年 10 月 28 日	社員	26
25	太宰府移動自然博物館	太宰府市立 太宰府小学校	岩熊志保	平成 28 年 11 月 1 日	小学 4 年生	101
26	太宰府移動自然博物館	太宰府市立 太宰府小学校	岩熊志保	平成 28 年 11 月 10 日	小学 3 年生	97
27	子育て家庭向けのエコクッキング	NPO 法人 むなかた子育てネットワークこねっと	佐藤直美	平成 28 年 11 月 15 日	未就学児の保護者	6
28	エコアクション 21 コンサルティング	(有)太宰府清掃	中島昭一	平成 28 年 11 月 16 日	社員	2
29	みんなで学ぼう！田んぼの生物多様性	筑豊地区地域環境協議会(事務局：福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所)	宇根 豊	平成 28 年 11 月 18 日	環境保全に関する活動をしている団体、企業、学校、行政等	35
30	EA21 環境マネジメントシステムフォローアップ	(株)福岡日野組	松岡信明	平成 28 年 11 月 25 日	社員	2
31	社員向け環境講座	西松建設(株)九州支社	清水佳香	平成 28 年 12 月 9 日	社員	71
32	エコアクション 21 認証登録に向けてのコンサルティング	諸富紙工(株)	真鍋和義	平成 29 年 1 月 13 日	役員及び担当者	3
33	エコアクション 21 登録認証のための学習会	(株)三友金属	越智信雄	平成 29 年 1 月 19 日	社員	2
34	環境にやさしい町を創るために、私たちがすべきこと	宗像・遠賀・粕屋地域環境協議会	依田浩敏	平成 29 年 1 月 24 日	宗像・遠賀・粕屋地域環境協議会構成員である市町環境部門・教育部門職員、地球温暖化防止活動推進員	33
35	地球環境問題と私のエコライフ	(株)メイホー 第 3 工場	林 真実	平成 29 年 1 月 24 日	社員	20
36	味噌作りと家庭でできるエコ活動	maki maki hand made	矢野真佐美	平成 29 年 1 月 30 日	主婦	15
37	エコクッキング「手作り味噌教室」	小郡市 生活環境課	篠原貴美恵	平成 29 年 2 月 11 日	小学生以上	31
38	エコアクション 21 認証登録に向けてのコンサルティング	晃榮住宅(株)	中島昭一	平成 29 年 2 月 14 日	社員 (EA21 担当者)	1
39	福吉公民館 コミュニティカレッジ	福吉公民館コミュニティカレッジ	矢野真佐美	平成 29 年 2 月 22 日	地域住民	7
40	旬の食材を使って料理を作る体験教室	春日中アンビシャス広場	篠原貴美恵	平成 29 年 2 月 22 日	中学 1~2 年生	14
41	エコアクション 21 認証登録に向けてのコンサルティング	(株)シンコー	中島昭一	平成 29 年 2 月 23 日	社員	6
42	エコアクション 21 登録認証のための学習会	藤榮電気工事(株)	中島昭一	平成 29 年 2 月 23 日	社員	2
43	エコアクション 21 認証登録に向けてのコンサルティング	大和建設(株)	中島昭一	平成 29 年 3 月 6 日	社員 (EA21 担当者)	2
44	エコアクション 21 登録認証のための学習会	井手建設(株)	中島昭一	平成 29 年 3 月 6 日	社員	1
45	地球温暖化と企業で取り組む省エネ	三井住友信託銀行 福岡支店	林 真実	平成 29 年 3 月 10 日	社員	15
					合計	1,678



図-39 環境マイスター講演（㈱メイホー）



図-40 環境マイスター講演（筑紫女学園大学）



図-41 環境マイスター講演（久留米地区衛生連合会）

(4) うちエコ診断士の派遣

うちエコ診断士の資格を有する者をセンターに登録し、受診申込みのあった家庭や自治体主催のイベント等へ派遣しました。

平成28年度の派遣実施件数は6件、合計実施件数は18名で、計画比36%（計画件数：50件）でした（表-19）。また、このうちエコ診断によるCO₂削減効果は3.5t-CO₂*でした。なお、うちエコ診断事業は別途後述の環境省補助事業において実施しています。

（※：うちエコ診断後の事後調査票の結果をもとにデータ分析を行って算定したCO₂削減量）

表-19 うちエコ診断士派遣実績

診断日	診断場所	診断士	診断件数	方法
平成28年7月18日	受診者自宅（福岡市南区）	森 博史	1	訪問
平成28年12月6日	福岡県地球温暖化防止活動推進センター	石橋 貞子	1	窓口
平成29年1月22日	大木町図書・情報センター	荒木 フサエ	1	会場
平成29年1月23日	新宮町役場 環境課	梅崎 由美子	1	会場
平成29年2月9日	福岡市立中央市民センター	小池 敦子 森 博史 吉谷 勝裕	6	会場
平成29年2月11日	エコスタいいづか	宮崎 文雄	8	会場
		合計	18	

注) 環境省事業で実施したうちエコ診断実績は表-25参照



図-42 うちエコ診断会（エコスタいいづか）



図-43 エコスタいいづか会場の様子

2-4 「ふくおかエコトン隊」の派遣

地球温暖化問題解決のためには、県民への直接的な普及啓発のほか、将来を担う若者に対する環境教育の重要性が挙げられます。そのため、県センターでは平成 22 年 6 月 5 日（エコトンの誕生日）にあわせ、大学生や高校生等による環境啓発ボランティア「ふくおかエコトン隊」を結成しました。現在の登録者数は 10 名で、公立大学法人福岡女子大学の学生によって構成されています。

今年度は「ふくおかエコトン隊」の派遣依頼が 1 件（昨年度 2 件）ありましたが、学生の都合とマッチングせず派遣実績はありませんでした。

「ふくおかエコトン隊」の派遣ニーズは減少しており、また学生ボランティアも減っており、今後は隊員の新規募集、エコトン隊の周知の強化を図っていく必要があります。

2-5 その他支援

福岡女子大学の学生による卒業論文「福岡県地球温暖化防止活動推進員の活動実績および評価に関する研究」に対して、推進員へのヒアリング、アンケート等の協力依頼、推進員アンケート項目への助言等の協力を行いました。

本研究では、県内の推進員全員（99 名）にアンケート調査が行われ、回収率が 79%と推進員の協調性の高さが窺われました。アンケート解析に基づいて推進員の活動実績の特徴や地域特性、活動意識等が整理されています。

本研究の結果、推進員は県センターと連携した取組を数多く行っている一方で、地元自治体との連携強化や推進員の認知度の向上を課題として挙げていることが判りました。県センターとしてもこの点を重く受け止め、課題解決に向けて取り組んでいきます。

3. 将来を支える次世代人材の育成

3-1 ふくおか子ども環境家計簿の作成、普及

夏休みや冬休みの期間中の宿題として、親子で取り組むことのできる「ふくおか子ども環境家計簿（通常版）」を10,000部作成しました（図-44、45）。

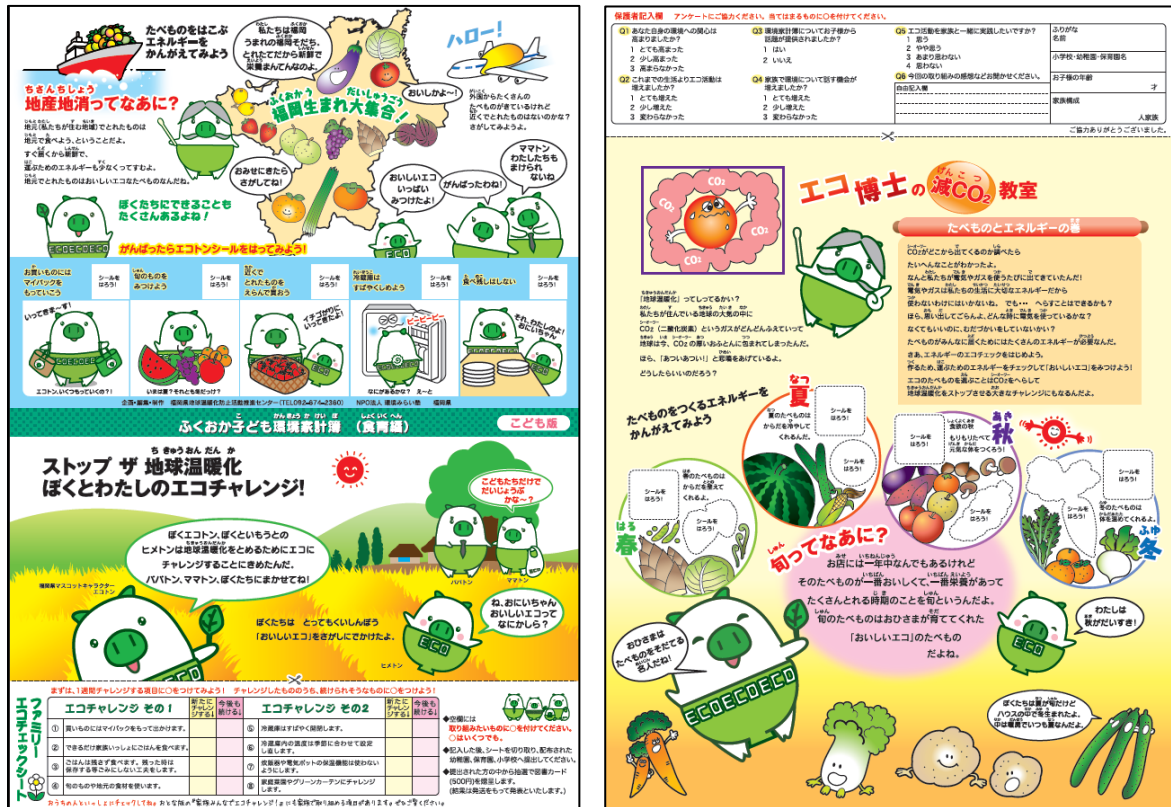


図-44 ふくおか子ども環境家計簿（通常版 A4版4頁）

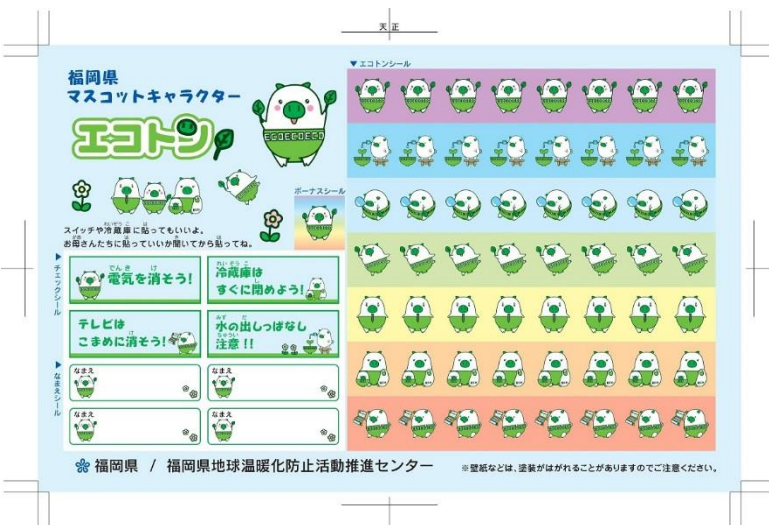


図-45 ふくおか子ども環境家計簿用エコチェックシール



図-46 年賀ハガキ（塗り絵）

3-2 三世代まるごとエコ活動支援

幼稚園、保育園等において、地球温暖化防止等に関する子ども又は親子向けエコ出前講座を開催し、受講後には講座内容に合わせた環境啓発活動に取り組んでもらいました。今年度は受講した園児世帯のうち、672世帯から取組報告を受けました。エコ出前講座の受講後に園児等が家庭で取り組んだ「子ども環境家計簿」の報告結果から、二酸化炭素削減量は111t-CO₂/年と推計されました（表-20）。

参加又は参加予定の園児には図-46に示す年賀ハガキを進呈し、園児がハガキの絵柄に塗り絵をしてから祖父母等へ送付してもらいました。

表-20 申込園の二酸化炭素削減効果 (単位：kg-CO₂/年)

No.	実施日	申請団体名	報告世帯数	二酸化炭素削減効果
1	平成28年9月21日	平恒保育所	23	3252
2	平成28年10月3日	昇町保育所	0	—
3	平成28年10月6日	光沢寺第二保育園	0	—
4	平成28年10月12日	筑穂保育所	33	5453.4
5	平成28年10月12日	久留米育英幼稚園・保育園	12	984.94
6	平成28年10月13日	大莞保育園	51	6137
7	平成28年10月19日	神崎保育所	14	1712
8	平成28年10月21日	筑後中央幼稚園	9	1723.6
9	平成28年10月24日	リトルワールド博多ぎおん園	4	681.94
10	平成28年10月28日	木屋瀬保育園	0	—
11	平成28年10月25日	街道保育所	43	6939.93
12	平成28年10月26日	犀川保育所	5	786.61
13	平成28年10月26日	鴨生田保育園	22	3254.4
14	平成28年10月27日	大和保育所	25	4274.7
15	平成28年10月28日	篠隈保育所	0	—
16	平成28年10月29日	西牟田保育園	23	4435.4
17	平成28年11月7日	白鳥保育園	26	4463.6
18	平成28年11月10日	金田保育園	55	9304.435
19	平成28年11月14日	北九州ソレイユ保育園	4	918.04
20	平成28年11月29日	八幡保育園（八女市）	38	7211.4
21	平成28年11月30日	玉川保育園	27	4591.4
22	平成28年12月6日	香春保育所	16	2207.9
23	平成28年12月8日	同和保育所	0	—
24	平成28年12月9日	探銅所保育所	0	—
25	平成28年12月15日	井掘保育園	1	174.54
26	平成28年12月15日	貫保育所	10	1554.6
27	平成28年12月16日	勾金保育所	19	2914.5
28	平成28年12月20日	さつき幼稚園	0	—
29	平成29年1月16日	わかぐさ保育園	3	577.87
30	平成29年1月17日	洗心保育園	13	2063.3
31	平成29年1月17日	門司保育所	1	240.14
32	平成29年1月17日	緑保育所	24	4673.1
33	平成29年1月18日	香春幼稚園	12	2453.6
34	平成29年1月18日	東青葉保育園	1	147.9
35	平成29年1月18日	中津原保育園	0	—
36	平成29年1月20日	木佐木保育園	26	4091.1
37	平成29年1月20日	宮尾保育園	0	—
38	平成29年1月20日	あけぼの幼稚園	0	—
40	平成29年1月23日	はつねほいくえん	18	3596.38
41	平成29年2月7日	古城保育園	33	5996.58
42	平成29年2月13日	堂山保育所	25	3722.2
39	平成29年2月15日	荻田町第二ひまわり保育園	20	3652.2
43	平成29年2月16日	杉の子保育園	10	1936.7
44	平成29年2月22日	田主丸保育所	0	—
45	平成29年2月22日	幸袋こども園	40	4905
計			672	111,032.4

4. エコファミリー、エコ事業所応援事業のサポート活動

県センターでは、福岡県と福岡県環境県民会議（県民団体、事業団体、行政で構成）の3者で協力し、福岡県独自の環境家計簿「ふくおかエコライフ応援 book」（県民編）と「ふくおかエコ事業所応援 book」（エコ事業所編）を作成し、家庭や事業所の省エネルギー行動を手助けするツールとして県民及び一般事業者提供しています。

また、県センターのホームページを平成22年7月から県の「ふくおかエコライフ応援サイト」に統合して、エコファミリー、エコ事業所の環境家計簿の記帳をweb上でできるようにし、電子化を進めています。

4-1 福岡県環境家計簿（県民編）の作成、普及

福岡県環境家計簿（県民編）については、インターネット環境を持たない県民やグループで取り組んでいるエコファミリーを対象として、紙媒体の環境家計簿を継続的に作成しています。昨年度はより利便性を高めるためカレンダー形式に刷新し、今年度も体裁はカレンダー形式を継続させ、記載内容に対して軽微な変更を行いました。

一般家庭向けの環境家計簿「ふくおかエコライフ応援 book」2017年度版（記帳欄は4月～翌年3月までの12ヶ月）を9,000部作成しました。新規及びご報告戴いたエコファミリーに配布するようにしています（図-47）。



図-47 ふくおかエコライフ応援 book 2017年度版

4-2 福岡県環境家計簿（エコ事業所編）の作成

エコ事業所向け環境家計簿「ふくおかエコ事業所応援 book」2017 年度版については、2016 年版を更新して原稿作成を行い、福岡県「ふくおかエコライフ応援サイト」に掲載して、エコ事業所が自由にダウンロードできるようにしました（図-48）。

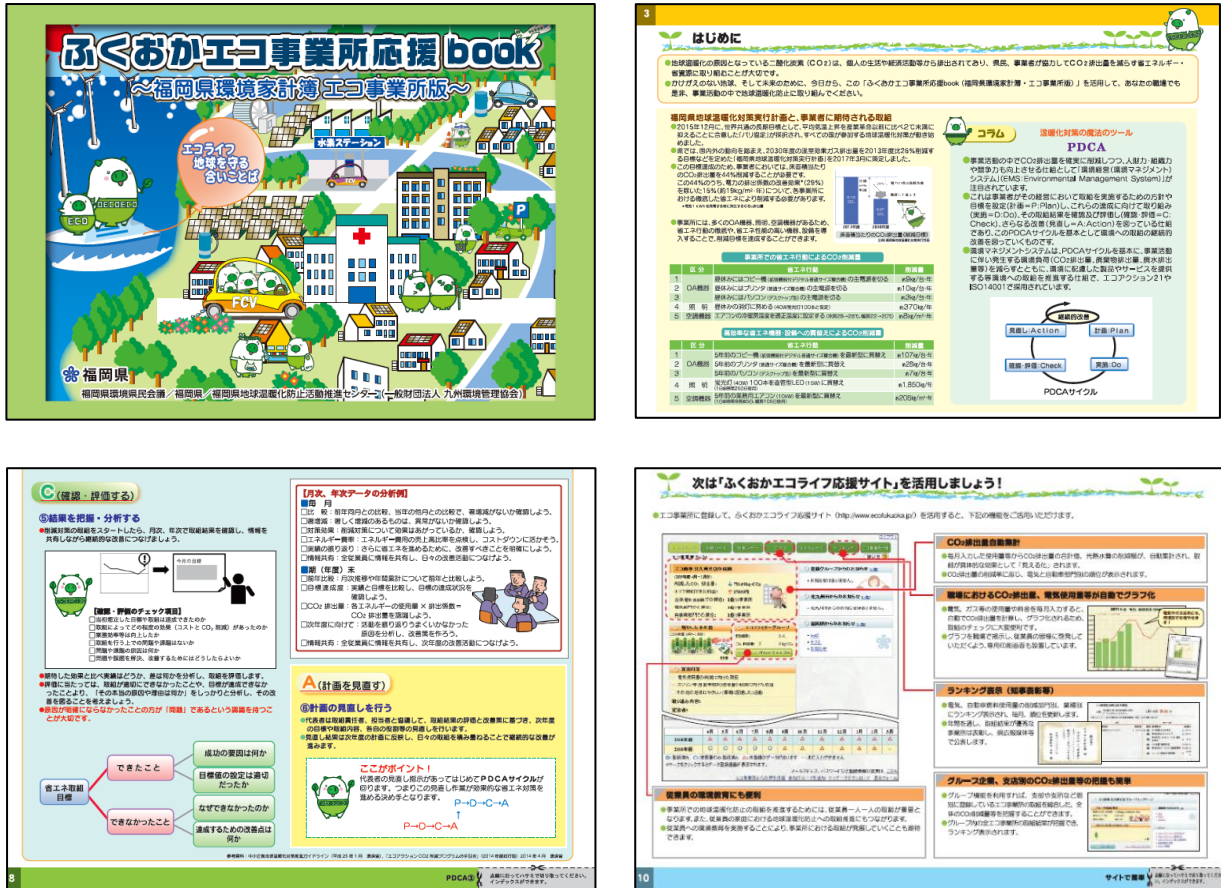


図-48 ふくおかエコ事業所応援 book 2017 年度版

5. 県内の温室効果ガス排出実態の調査

5-1 温室効果ガス排出量

2014年度の福岡県の温室効果ガス総排出量は、6,240万トン（二酸化炭素換算、電気の二酸化炭素排出係数0.584 kg-CO₂/kWh）です（表-21）。

京都議定書の規定による基準年度※の総排出量と比べ1.9%増加し、前年度（2013年度、以下同じ）からは2.1%減少しました。

電気の二酸化炭素排出係数を調整後（0.598 kg-CO₂/kWh）の値で算定すると、温室効果ガス総排出量は6,280万トンで、基準年度比で2.6%の増加、昨年度比では1.5%減少しています。

表-21 福岡県の温室効果ガス総排出量総括表

温室効果ガス排出区分	京都議定書 基準年度※ (1990年度) (1995年度) (万トン)	前年度 (2013年度) (万トン)	前年度 からの 増減率 (%)	現況 (2014年度) (万トン)	増減率 (対基準年度) (%)	(参考) 国の増減率 (対基準年度) (%)
合計	6,122	6,376	-2.1	6,240	+1.9	+7.3
二酸化炭素	5,873	6,143	-2.5	5,989	+2.0	+9.4
エネルギー転換部門 (発電所等)	60	65	+6.0	69	+16.3	+2.9
民生(家庭)部門	481	825	-7.9	760	+57.9	+46.6
民生(業務)部門 (商業・サービス・事業所等)	483	792	-10.6	708	+46.8	+90.5
産業部門 (工場等)	3,016	2,691	-0.6	2,675	-11.3	-15.1
運輸部門 (自動車・船舶等)	899	1,119	-1.0	1,108	+23.3	+5.3
工業プロセス部門 (セメント製造等)	876	580	+2.1	592	-32.4	-28.0
廃棄物部門 (一廃・産廃)	58	70	+9.8	77	+33.2	+20.0
メタン	137	31	-2.5	31	-77.7	-27.0
一酸化二窒素	85	79	+1.2	80	-5.3	-32.5
代替フロン等4ガス (HFC、PFC、SF ₆ 、NF ₃)	28	123	+14.3	140	+405.7	+18.6

注)・四捨五入の関係で各項目の数値の合計値や増減率が合わない場合がある

注)・※：二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素の基準年度は1990年度、代替フロン等4ガス(HFC、PFC、SF₆、NF₃)の基準年度は1995年度、以下同じ

・二酸化炭素以外の温室効果ガスの二酸化炭素換算のための地球温暖化係数については、基準年度との比較、過年度の推移を比較するために、第一約束期間の係数を採用している。

5-2 二酸化炭素排出量

全体の約 89%を占めるエネルギー起源二酸化炭素の排出量は 5,320 万トンで、基準年度から 7.7%増加しており、前年比では 3.1%減少しています。部門別には次のとおりです。

エネルギー転換部門（発電所等）：1990 年度比+16.3%（対前年度比+6.0%）
 家庭部門：1990 年度比+57.9%（対前年度比-7.9%）
 業務部門（商業・サービス・事務所等）：1990 年度比+46.8%（対前年度比-10.6%）
 産業部門（工場等）：1990 年度比-11.3%（対前年度比-0.6%）
 運輸部門（自動車・船舶等）：1990 年度比+23.3%（対前年度比-1.0%）

全体の約 11%を占める非エネルギー起源二酸化炭素の排出量は 669 万トンで、基準年度から 28.4%減少しており、前年度比では 3.0%増加しています。部門別には次のとおりです。

工業プロセス部門（セメント製造等）：1990 年度比-32.4%（対前年度比+2.1%）
 廃棄物部門（一般廃棄物・産業廃棄物）：1990 年度比+33.2%（対前年度比+9.8%）

部門ごとの排出量は、産業部門、工業プロセス部門、運輸部門及び廃棄物部門は近年横ばい傾向にあります。民生（家庭）部門、民生（業務）部門、エネルギー転換部門は原発停止による CO₂排出係数の上昇に伴い、2011 年度、2012 年度には大幅に増加しましたが、2013 年度から減少に転じ、2014 年度には更に減少しています（図-49）。

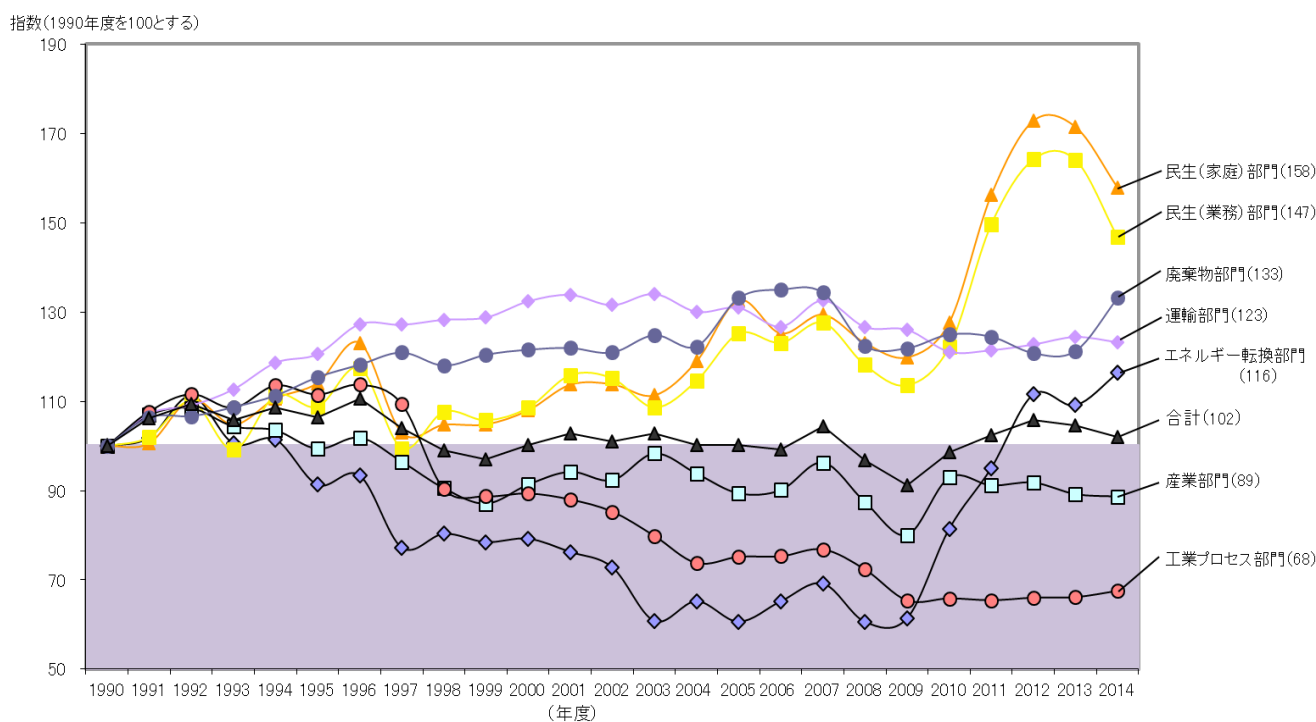


図-49 部門別二酸化炭素排出量の伸び率

県内の二酸化炭素排出量は、2009年度以降増加傾向にありましたが、2013年度から減少に転じています（図-50）。

エネルギー消費量は、2010年度以降は減少傾向にあります（図 51）。

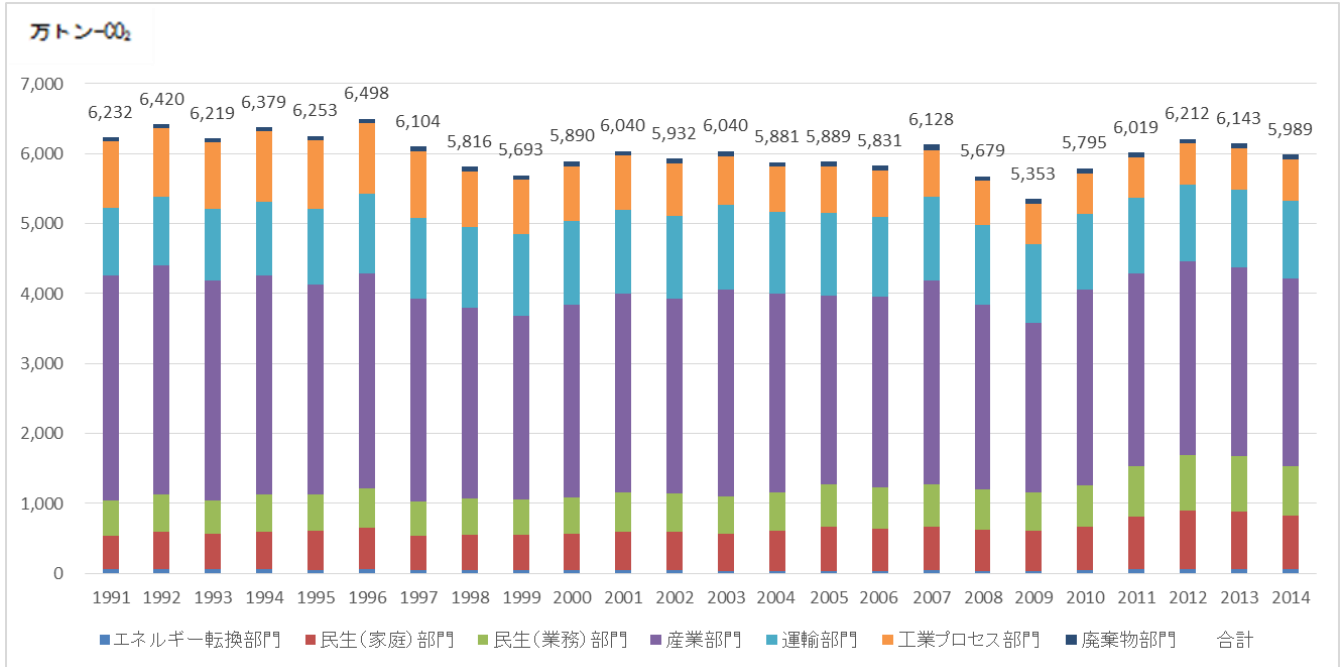


図-50 二酸化炭素排出量の推移（福岡県）

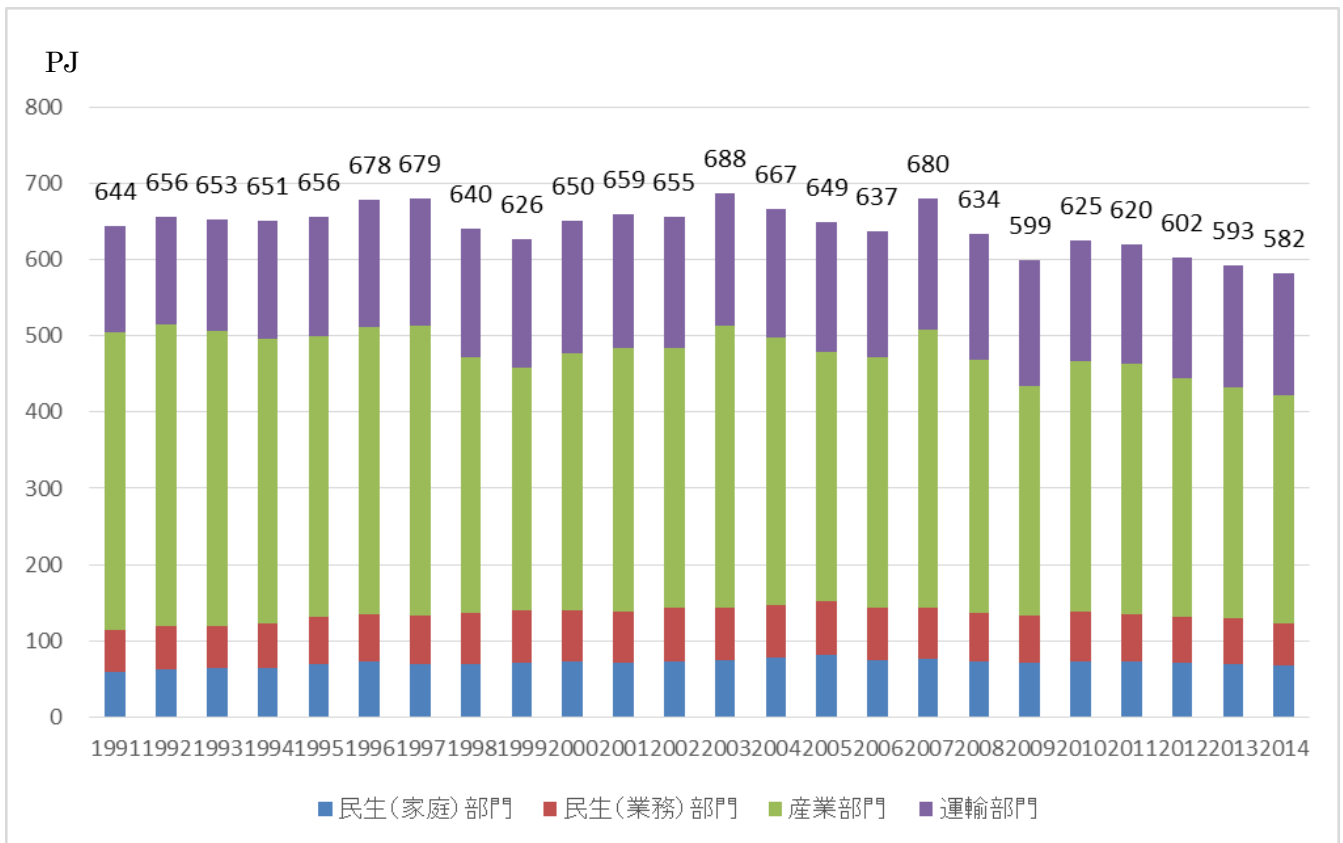


図-51 エネルギー消費量の推移（福岡県）

6. ふくおかエコライフ応援プロジェクト事業実施業務（福岡県委託事業）

6-1 業務の概要

福岡県では、家庭生活や事業活動におけるエネルギー使用の状況・方法等の見直しを促すことによって、エネルギーの有効利用と CO₂ 排出量の減少を図ることを目的に、「ふくおかエコライフ応援プロジェクト事業」を実施しています。

本業務は、この事業を円滑に推進するために、ポスターやチラシ、応援パスポート、エコチケットの作成、並びにこれらの配布、発送等の諸作業、エコファミリーのデータ入力、取組結果の効果分析などを行ったものです（図-52～54）。

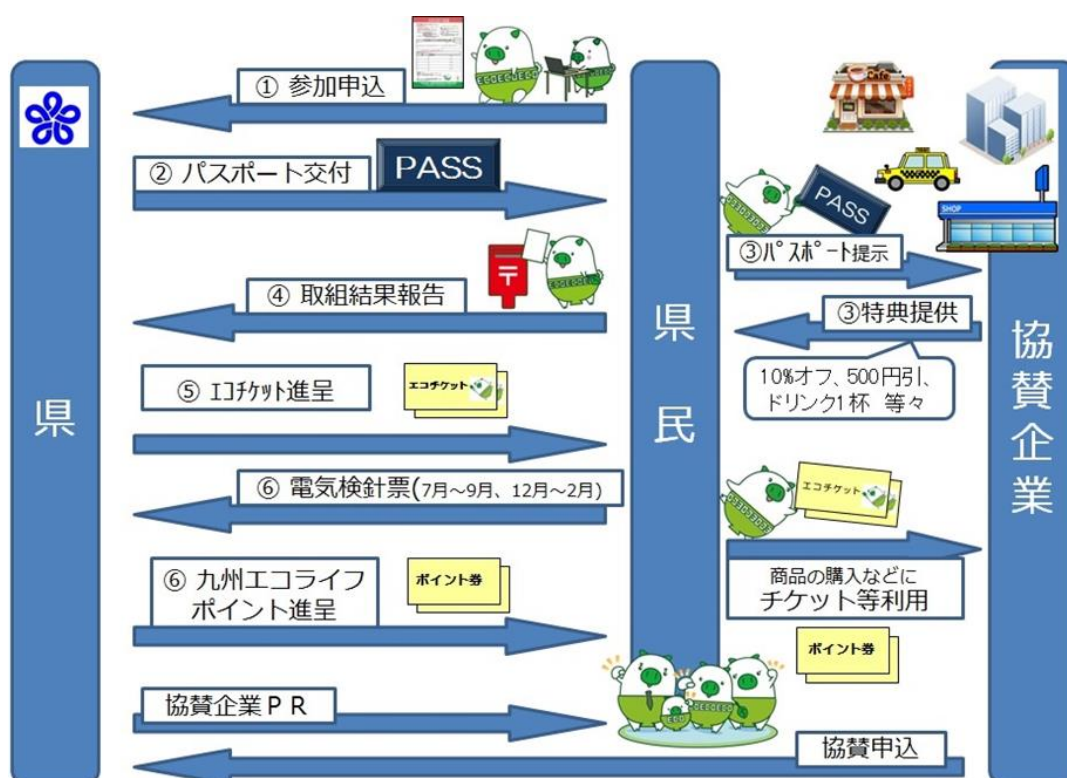


図-52 ふくおかエコライフ応援プロジェクト事業の概念図



図-53 応援パスポート



図-54 エコチケット

エコファミリー募集の周知ポスターや、エコファミリー募集と事業概要、省エネ・節電のポイントイラスト入りで紹介したチラシを作成しました（図-55）。

作成したチラシは、福岡県を通じて県内自治体や保健環境事務所に配布したほか、県内各地域で推進員が行うイベントや出前講座などで配布しました。

また、エコライフ応援サイトを活用して、インターネットによる事業の告知・広報を行った他、大型商業施設や地域イベント等計 20 箇所街頭啓発を行いました（図-56）。これらの街頭啓発で新規に 442 件のエコファミリーを獲得しました。

図-55 エコファミリー募集チラシ



図-56 大型商業施設での街頭啓発

6-2 業務の実施結果

(1) エコファミリー参加数

本事業により、今年度新たにエコファミリーの申込を1,867件獲得しました。

また、27年度下半期に783世帯、28年度上半期に765世帯のエコファミリーより取組結果の報告を受けました。また、検針票貼付による報告が夏季に1,167件、冬季に907件ありました。

エコチケットの発送枚数は2,508枚であり、エコチケット取扱店より返送されたチケットは1,688枚で、チケット利用率は67.3%に止まりました。

(2) 節電効果

節電効果については、報告を受けた世帯のうち、前年度分との比較ができる世帯を対象に分析を行いました。その結果、27年度下半期に33,050kWh、28年度上半期に22,989kWhの節電量が推計されました。節電率は2%程度で、節電を達成した世帯の割合は27年度下半期が約58%、28年度上半期が約30%でした。

(3) CO₂削減効果

CO₂削減効果については、各世帯のエネルギー使用量等（電気、ガス、水道、ガソリン、灯油、可燃ごみ）を前年度同期間と比較して分析しました。その結果、27年度下半期が35,520kg-CO₂、28年度上半期が19,096kg-CO₂、合計54,616kg-CO₂の削減量が推計されました。

(4) 今後の課題

エコチケットをもっと利用してもらうためには、協賛企業の数を増やしていくとともに、コンビニエンスストアや大型商業施設等、チケットが利用しやすいところを協賛店に取り込んでいくことが重要です。

また、節電・CO₂削減効果を向上させるためには、エコファミリーのインセンティブを高めるような取組メニューの提案が必要です。

今後は、エコファミリーの登録母数を更に増やしていくことはもちろんのこと、環境家計簿学習会の開催による普及促進、インターネットによる登録、データ入力促進等を図っていく必要があると思われまます。

※上記の内容は「ふくおかエコライフ応援プロジェクト事業実施業務委託報告書」の結果概要より抜粋したものです。

7. 地域における地球温暖化防止活動推進事業（環境省補助事業）

7-1 地球温暖化対策の現状及び推進状況に関する啓発・広報業務

(1) 環境家計簿学習会（エコ講座）の開催

地球温暖化や自分たちにできるエコ活動を支援するツールとして、福岡県が作成している環境家計簿「ふくおかエコライフ応援 book」について学ぶ学習会「エコ講座」を県内各地で開催しました。開催にあたっては、案内チラシを作成し、県内の老人会連合会に送付したほか、推進員や市町村より積極的に周知していただきました。

環境家計簿学習会は延べ30回し、受講者数は合計860名でした（表-22）。

表-22 基盤整備事業 平成28年度エコ講座開催実績

No.	実施日	申請団体	派遣講師	会場	対象	参加者数
1	平成28年6月16日	小郡市環境課	宿理 英彦	ふれあい館三国	市民	26
2	平成28年6月18日	古賀市環境課	吉見 一郎	古賀市役所第二庁舎	市民	25
3	平成28年7月10日	日の里地区コミュニティ運営協議会	今西 良一	日の里地区コミュニティ運営協議会	市民	28
4	平成28年7月11日	田島サロン	今西 良一	田島公民館	市民	10
5	平成28年8月20日	古賀市環境課	蓮尾 隆	古賀市役所第二庁舎	市民	15
6	平成28年8月22日	ママエコサークル	梅崎 由美子	原町公民館	サークルメンバー	9
7	平成28年8月25日	太宰府市 まほろば市民大学	吉見 一郎	太宰府市中央公民館	市民	125
8	平成28年9月8日	田川郡母子寡婦福祉会	山尾 勝子	コスモス保健センター	市民	28
9	平成28年9月10日	行橋男女共同参画ネット	田中 千鶴	行橋中央公民館	市民	32
10	平成28年9月23日	福智女性ネット わ	山尾 勝子	ほのぼの館	市民	10
11	平成28年9月30日	大川市環境課	石橋 貞子	大川市保健センター	市民	70
12	平成28年10月1日	高取老人クラブ	荒木 フサエ	茶屋の原公民館	市民	22
13	平成28年10月1日	大野城市乙金東シニアクラブ	吉見 一郎	乙金東公民館	市民	40
14	平成28年10月17日	あじさいの会	今西 良一	メイトム宗像	市民	22
15	平成28年10月20日	味美処よしずや	山尾 勝子	味美処よしずや	社員	6
16	平成28年11月3日	森安ふれあいサロン	中村 眞弓	森安公民館	市民	11
17	平成28年11月15日	子育てサポートサロンcoco=kara	田中 美保	春日市まちづくり支援センターぶどうの庭	市民	6
18	平成28年11月15日	ちくほう女性会議田川地区会	山尾 勝子	ラビュタファーム	市民	8
19	平成28年11月21日	福岡女子大学なでしこメイト	久志 唯	福岡女子大学	学生	78
20	平成28年11月26日	朝倉市環境アクション協議会事務局	竹井 勝美	平塚川添遺跡公園	市民	50
21	平成28年11月29日	古賀市	吉見 一郎	中央区分館	市民	38
22	平成28年12月8日	日本経営士会 九州支部	森 博史	あずみん	経営士会員	12
23	平成28年12月9日	さくらクラブ(下高野二区ふれあいサロン)	鬼塚 やよい	下高野二区公民館	市民	10
24	平成28年12月10日	つばさの会	石橋 貞子	大川市内飲食店	市民	4
25	平成29年1月23日	rainbow house	梅崎 由美子	新宮町申込者自宅	市民	7
26	平成29年2月13日	大刀洗町教育委員会生涯学習課	宮崎 誠	大刀洗町公民館講座	市民	15
27	平成29年2月14日	光寿会	丸尾 哲郎	光陽台公民館	市民	50
28	平成29年2月19日	福岡県社会福祉協議会	田中 千鶴	春日市クローバープラザ	市民	60
29	平成29年2月20日	白木原シニアクラブ	吉見 一郎	白木原公民館	市民	30
30	平成29年2月26日	幡保婦人会	石橋 貞子	幡保公民館	市民	13
計						860



図-57 環境家計簿学習会（宗像・遠賀地域）



図-58 環境家計簿学習会（宗像・遠賀地域）

7-2 地域地球温暖化防止活動推進員の支援

各種講座の講師養成、推進員の自主的活動支援のため以下の講習会・研修会等を実施しました。

(1) エコ講座講習会、講演練習会

県内6地域で推進員を対象に、環境家計簿の講座を実際に体験する「講習会」と、また推進員自らが講師となって推進員の前で講演練習する「練習会」を実施しました（表-23、24、図-59～62）。

これにより、推進員の中から新たに8名が環境家計簿学習会の講師を務めました。

表-23 講習会の開催実績

地域名	実施日	推進員参加数
福岡・筑紫	7月11日	3
北九州・京築	8月1日	7
宗像・遠賀	8月3日	6
筑豊	7月7日	12
北筑後	7月4日	7
南筑後	8月2日	1
合計		36人

表-24 練習会の開催実績

地域名	実施日	推進員参加数
福岡・筑紫	8月25日	3
北九州・京築	9月5日	5
宗像・遠賀	9月9日	4
筑豊	8月22日	6
北筑後	8月23日	3
	8月31日	5
南筑後	10月3日	4
合計		30人



図-59 講習会の様子（北九州・京築地域）



図-60 講習会の様子（久留米・北筑後地域）



図-61 練習会の様子（久留米・北筑後地域）



図-62 練習会の様子（宗像・遠賀地域）

(2) エコドライブアドバイザー講演練習会

昨年度コンソーシアム事業で実施したエコドライブ指導員養成講座を受講した推進員、環境 NPO 等を対象に、講演方法を学ぶ講演練習会を実施しました（図-63、64）。参加者数は推進員 5 名、行政 2 名、環境 NPO 等 5 名の計 12 名でした。

まず、企業等でエコドライブの講演経験のある中村氏（推進員）の講演を聴いた後、講演の際のポイントについて説明を受けました。次に、少人数のグループに分かれ、PPT を実際に使用しながらグループ内で講演練習を行い、各グループで相互に意見交換を行いました。

この講演練習会を受講したエコドライブアドバイザーは、その後 2 つの自治体がそれぞれ開催した「エコドライブ教習会」の講師として活躍されました。



図-63 中村氏による講演



図-64 質疑応答の様子

(3) 推進員対象 OJT 研修

講師経験の少ない推進員が、希望により他の推進員の講座の様子を見学することでそのノウハウを学ぶ OJT 研修を行いました。講座後には講師との意見交換や情報交換を行うことでスキルアップを図りました。今年度の参加者数は延べ 24 人でした。

(4) 推進員研修会

福岡教育大学名誉教授中村重太氏、株式会社アダプトネクスト熊野たまみ氏を講師に迎え、「平成 28 年度福岡県地球温暖化防止活動推進員研修会」を福岡県と合同で開催しました（図-65、66）。参加者は、推進員、行政担当者、関係 NPO 等、計 52 名でした。

はじめに、中村氏より環境教育の歴史や学校教育における環境教育の立ち位置、環境教育を学校で進めていくための方法について講演いただき、次に、熊野氏より人に伝える技術についての講演後、グループワーク形式で相手に簡潔に伝える方法について学びました。

グループワークでは、普段接触の機会があまりない他地域の推進員や行政担当者、環境 NPO 等が混在したグループで行ったことで、相互交流や情報交換のいい機会となりました。

「学校教育における環境教育の取り組み」 講演：中村 重太氏
「上手に伝えるために」グループワーク 講師：熊野 たまみ氏



図-65 環境教育の講義の様子



図-66 グループワークの様子

(5) 推進員相談窓口の設置

福岡県センターに推進員相談窓口を設置し、推進員活動に関する疑問、課題等について個別に相談を受け付け対応しました。今年度の利用者数は 8 人でした。

7-3 温室効果ガスの排出の抑制等のための照会・相談・助言業務

県民に低炭素ライフスタイルへの転換を促すための啓発冊子を作成しました（図-67～69）。作成に当たっては推進員やNPOより選抜したメンバーから成る「啓発冊子検討部会」を設置し、3回にわたって検討部会の意見を聴きました。

啓発冊子は7,000部作成し、地域イベントやエコ講座、小学校でのエコ出前講座等で配布しました。

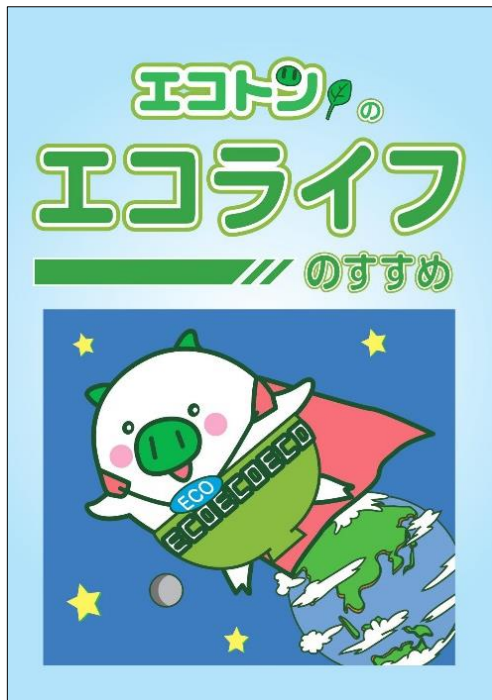


図-67 啓発冊子の表紙

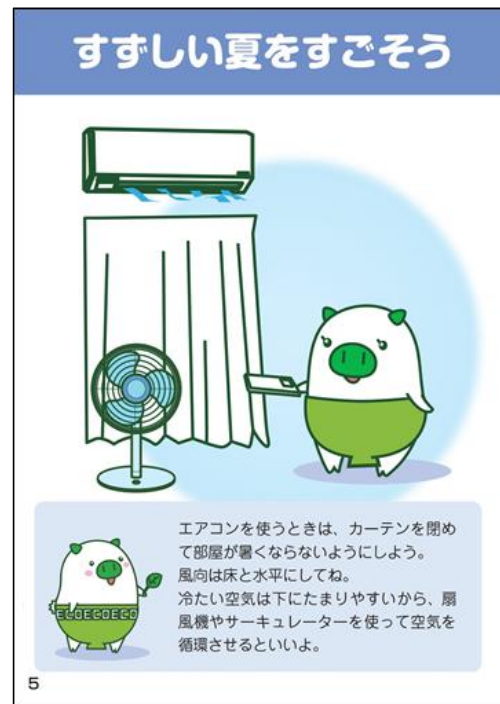


図-68 紙面の一部



図-69 紙面の一部

8. 低炭素ライフスタイル構築に向けた診断促進事業（環境省補助事業）

8-1 事業の概要

各家庭のライフスタイルに応じた効果的なCO₂削減方法の提案を行うことより、県内の家庭部門における温室効果ガス削減対策及び具体的な削減行動を促すことを目的に、うちエコ診断事業に取り組みました。

うちエコ診断は、平成28年7月29日から平成29年1月22日までの期間に、自宅訪問、自治体主催の診断会及び各種イベント会場にて、延べ150件実施しました（表-25）。

表-25 うちエコ診断士派遣一覧

診断日	診断場所	診断士	診断数	方法
2016/7/29	いづか街なかオアシス	中村真弓	2	会場
2016/7/31	大木町	荒木フサエ/石橋貞子/ 益田隆一	3	会場
2016/8/5	いづか街なかオアシス	中村真弓	2	会場
2016/8/19	いづか街なかオアシス	中村真弓	2	会場
2016/9/2	受診者自宅(宗像市池田)	吉柳隆行	1	訪問
2016/10/3	受診者自宅(太宰府市梅香苑)	吉見一郎	1	訪問
2016/10/16	古賀市健康福祉まつり	吉見一郎	1	会場
2016/10/22	ふくおか環境フェスティバル	案浦浩二/小池敦子/ 吉谷勝裕	2	会場
2016/10/23	ふくおか環境フェスティバル	太田能史/森博史	4	会場
2016/10/23	受診者自宅(久留米市善導寺町飯田)	松田有紀子	1	訪問
2016/10/23	環境フェスタin太宰府	宮崎文雄/吉見一郎/ 高木祐二	19	会場
2016/10/30	宮若ふるさと祭り	中村真弓	3	会場
2016/11/9	古賀市役所職員	蓮尾隆	2	会場
2016/11/13	受診者自宅(福岡市博多区)	蓮尾隆	1	訪問
2016/11/13	筑後市環境フェスタ	宮崎文雄/石橋貞子	11	会場
2016/11/13	小竹町民まつり	太田能史/リース香織	7	会場
2016/11/15	受診者自宅(福岡市東区)	蓮尾隆	2	訪問
2016/11/20	まつり古賀	蓮尾隆	8	会場
2016/11/21-26	古賀市	吉見一郎/越智信雄/ 丸尾哲郎/占部美保/蓮尾隆	23	会場
2016/11/23	宗像環境フェスタ	占部美保	4	会場
2016/11/28-30	新宮町	梅崎由美子	5	会場
2016/12/1-9	新宮町	梅崎由美子	4	会場
2016/12/12	古賀市	吉見一郎	4	会場
2016/12/13	古賀市	蓮尾隆	2	会場
2016/12/14	福岡市中央区	小池敦子/案浦浩二	2	会場
2016/12/16	受診者自宅(大川市幡保)	石橋貞子	1	訪問
2016/12/20	受診者自宅(福岡市城南区)	森博史	1	訪問
2016/12/26	受診者自宅(福岡市東区)	松田有紀子	1	訪問
2017/1/12	福岡県庁	吉谷/森/太田/小池	9	会場
2017/1/12	大木町	荒木フサエ/太田能史	7	会場
2017/1/13	福岡東総合庁舎	吉谷/森/吉柳	10	会場
2017/1/22	大木町	荒木フサエ/吉見一郎	5	会場
		診断実施合計件数	150	

8-2 診断実施概要

(1) うちエコ診断受診希望者の募集

受診希望者の募集にあたっては、募集チラシ兼申込書を作成して環境に関わるイベントや、うちエコ診断説明会にて配布しました（図-70）。

また、県センターのホームページ（ふくおかエコライフ応援サイト）に診断会の案内を掲載し、自治体の広報誌への掲載による募集も行いました（図-71）。

図-70 募集チラシ兼申込書

図-71 広報誌への掲載（宗像市）

(2) うちエコ診断の実施

古賀市、大木町、新宮町等の協力自治体との連携による診断会や、県内で行われた環境イベント会場において診断会を実施しました（図-72、73）。

また、福岡県環境部環境保全課より協力を得て、県庁及び各地域の市町村や保険福祉環境事務所の職員を対象とした診断会を実施しました（図-74）。

うちエコ診断会を開催するに当たっては自治体との連携が不可欠であり、また自治体職員が受診されることで、うちエコ診断への理解が深まり、市民への受診勧誘の機会が増えることが期待されます。



図-72 大木町主催うちエコ診断会の様子



図-73 環境フェスタ in 太宰府市の様子



図-74 福岡県主催のうちエコ診断会

(3) うちエコ診断士の募集・登録

今年度うちエコ診断士の資格を取得された方を対象に、うちエコ診断士として登録するために、登録時研修を2回実施しました（図-75）。

新規登録者は4名でした。



図-75 第1回登録時研修の様子

(4) うちエコ診断士フォローアップ研修会開催

登録しているうちエコ診断士 35 名中参加者 21 名に対して、フォローアップ研修会を 9 月に開催しました (図-76)。フォローアップ研修会では、平成 27 年度の診断実績並びに平成 28 年度の診断実施予定を事務局より説明した後、ロールプレイングを実施し、うちエコ診断ソフトの使い方や診断時の時間配分について再度確認を行いました (図-77)。

また、本研修では診断サービスの向上を目的として診断士より事前に質問事項を集め、質問に対する回答を集約したシートの説明と質疑応答を行いました。



図-76 フォローアップ研修会の様子



図-77 ロールプレイングの様子

8-3 事業の実績及び効果

診断実施件数 (150 件) のうち、事後調査票が回収できたのは 64 件 (回収率 43%) でした。この調査票回答結果をもとに、うちエコ診断による対策後の CO₂削減量を推計すると、56.7 t-CO₂でした (図-78)。

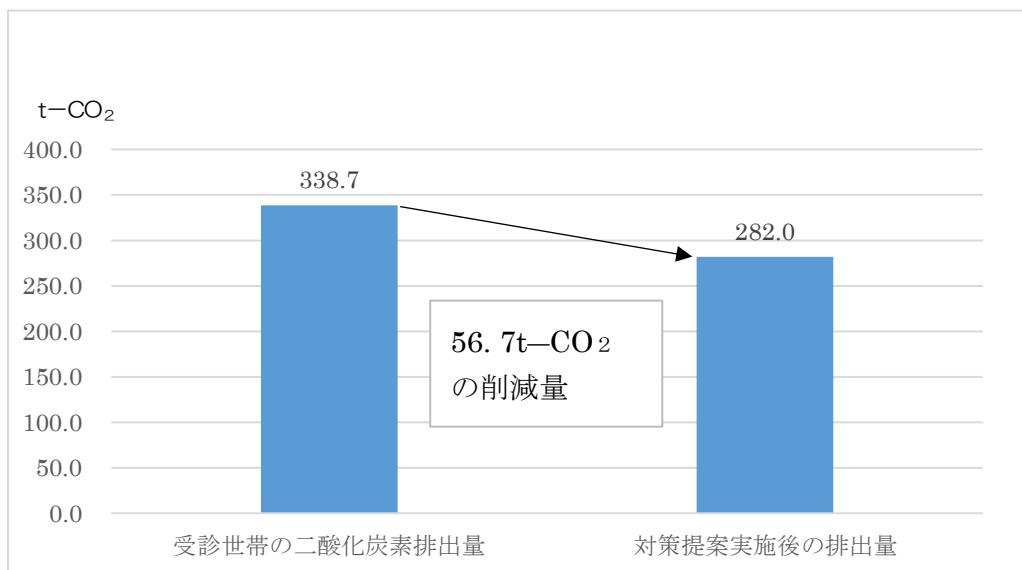


図-78 うちエコ診断後のCO₂削減効果

9. 平成 28 年度福岡県地球温暖化防止活動推進センター事業結果（総括）

本年度の主なセンター事業の効果量を推定した結果を表-26 に示します。直接啓発・相談・診断数は 30,591 人（活動件数 322 件）、CO₂排出量削減効果は 2,227 トン／年と推計されます。

表-26 センター事業による効果量の推計

区 分	事 業 内 容	対象人数、世帯数等 (件数)	CO ₂ 排出量 削減効果 (t・CO ₂ /年)	備 考
推進員連絡会活動の支援	福岡・筑紫地域の推進員活動	1,195 人(4 件)	108.7	パネルクイズの省エネ行動実施意向調査結果より推計
	宗像・遠賀地域の推進員活動	8,160 人(10 件)	129.4	
	北九州・京築地域の推進員活動	1,079 人(4 件)	123.1	
	筑豊地域の推進員活動	1,017 人(12 件)	49.9	
	久留米・北筑後地域の推進員活動	2,806 人(6 件)	377.0	
	大牟田・南筑後地域の推進員活動	3,740 人(8 件)	84.2	
	<小計>	17,997 人(44 件)	872.3	
環境マイスター派遣	学習会、セミナーへの講師派遣	1,678 人 (45 件)	226.5	CO ₂ 排出量の削減効果は、直接啓発人数に原単位(135kg-CO ₂ /年・人：平成 27 年度基盤形成事業委託報告書より設定)を乗じて推計：(A)
エコアドバイザー派遣	グリーンカーテン、エコ出前授業への講師派遣	3,929 人 (62 件)	530.4	同上
	三世代まるごとエコ出前講座等への講師派遣	2,919 人 (45 園)	—	
うちエコ診断士派遣	うちエコ診断の実施	18 世帯	3.5	事後調査票回答結果より推計
将来を支える次世代人材の育成	ふくおか子ども環境家計簿の取組（幼稚園、保育園）	672 世帯報告 (34 園)	111.0	ふくおか子ども環境家計簿の省エネ行動実施状況から推計
地域における地球温暖化防止活動促進事業(環境省補助事業)	環境家計簿学習会の開催	860 人 (30 件)	116.1	A の方法による推計
	子ども環境家計簿の取組	2,316 人 (62 校)	303.5	
	推進員研修会の開催	52 人	7.0	A の方法による推計
低炭素ライフスタイル構築に向けた診断促進事業(環境省補助事業)	うちエコ診断の実施	150 世帯	56.7	事後調査票回答結果より推計
合計		30,591 (322 件)	2,227	